

https://kiso-cloud.com/

Kiso-Cloud

geotechnical & geospacial SaaS

土性-BASE.NET Ver.5 …土質試験結果一覧表・土性図作成システム レンタル版・操作マニュアル

- 土性-BASE.NET は「土質試験結果一覧表・土性図」等を作成するシステムであり、土性-BASE/Win の後継製品となります。
- 「地質・土質成果電子納品要領(令和 8 年 2 月)」に規定された電子土質試験結果一覧表(基礎地盤・材料)および土質試験結果一覧表データを作成することができます。

The screenshot displays the Kiso-Cloud software interface, which is used for entering soil test results and generating soil property diagrams. The interface is divided into several main sections:

- Top Panel:** Contains file management options (File, Edit, Print, etc.) and a menu bar.
- Main Data Entry Area:** A table for entering test results. The table has columns for 'No.', 'Item Name', and 'Value'. It is organized into sections for 'Soil Information' (e.g., test number, depth), 'General' (e.g., moisture content, density), and 'Soil Classification' (e.g., soil type, plasticity index).
- Form Fields:** On the right side, there are various form fields for project information, including:
 - Project Name: 〇〇地区土質調査 (その2)
 - Survey Date: 2016/05/28
 - Survey Location: 地盤一部
 - Surveying Company: 株式会社〇〇コンサルツ
 - Location: B-1
 - Well Name: ERG0001
 - Coordinates: 東経 135度38分59.2000秒, 北緯 34度59分59.2000秒
 - Measurement Method: 1:1/10秒(約)まで(小数部桁)
 - Measurement Accuracy: 1:1/10秒(約)まで(小数部桁)
 - Datum: 〇2 世界測地系(JGD2011)
 - Coordinate System: T-P (トウキョウペーブル)を使用
- Soil Property Diagram (土性図):** A vertical chart on the right side of the interface. The vertical axis represents depth (0 to 20.00m). The horizontal axis represents various soil properties such as moisture content (w%), liquid limit (wL), plasticity index (Ip), and shear strength (Cv). The diagram shows data points and curves for different soil layers, with labels for soil types like 'シルト質粘土' and 'シルト質砂'.
- Material Table (材料):** A table at the bottom center showing soil classification results. It includes columns for soil type, plasticity index, and shear strength. The table is titled '土質試験結果一覧表 (材料) 1/1'.
- Basic Ground (基礎地盤):** A table at the bottom left showing the results of soil classification. It includes columns for soil type, plasticity index, and shear strength. The table is titled '土質試験結果一覧表 (基礎地盤) 1/1'.

目 次

1. 土性-BASE.NET の概要	1-1
1.1. 土性-BASE.NET とは	1-1
1.2. 電子納品要領の違いによる処理系	1-2
1.3. 高い視認性による高効率と高精度	1-3
1.4. 土性-BASE/Win (.SRY データ)	1-4
1.4.1. 細粒分含有率の扱い	1-5
1.4.2. 均等係数・液性限界・塑性限界・塑性指数の扱い (Ver.1.0.0.1～)	1-5
1.5. 入力項目の説明	1-6
1.6. Kiso-GIS (地盤情報データベース) との連携	1-7
2. インストールガイド	2-1
2.1. レンタル版の利用	2-1
2.1.1. ダウンロードおよびインストール	2-1
2.1.2. アンインストール	2-2
2.1.3. Kiso-Cloud 認証システム	2-3
2.2. システムの起動および終了	2-7
2.2.1. システムの起動	2-7
2.2.2. システムの終了	2-7
3. 画面構成	3-1
3.1. メイン画面構成	3-1
3.2. メニューおよびツールバー構成	3-2
3.3. コンテキストメニュー構成	3-2
4. ファイル関連機能	4-1
4.1. 新規	4-1
4.2. ファイルを開く	4-1
4.3. 上書き保存	4-1
4.4. 名前を付けて保存	4-2
4.5. ファイルリスト 1～5	4-2
4.6. アプリケーションの終了	4-2
5. データ入力	5-1
5.1. タブ (様式) の切り替え	5-1
5.2. タブのレイアウト	5-1
5.3. A 様式 (0 様式) の入力	5-2
5.4. B 様式の入力	5-3
5.4.1. 試料番号の記載のない情報	5-4
5.4.2. 同一試料の判定	5-4
5.4.3. 入力補助機能	5-5
5.4.4. 編集	5-5
5.4.5. 項削除	5-5
5.4.6. 列挿入	5-6
5.4.7. 列削除	5-6
5.4.8. 切り取り・コピー・貼り付け	5-6
5.4.9. 一覧表の 2 つのモード	5-7

目 次

6. 図表出力	6-1
6.1. 土質試験結果一覧表	6-1
6.1.1. 土質試験結果一覧表出力	6-1
6.1.2. 土質試験結果一覧表一括印刷 (Ver.2.1~)	6-2
6.2. 土質試験 VIEW	6-3
6.2.1. ファイル	6-3
6.2.2. 表示	6-4
6.2.3. ツール	6-4
6.2.4. 印刷設定	6-5
6.2.5. ヘルプ	6-5
6.3. 土性図 (Ver.2~)	6-6
6.3.1. 土性図出力	6-6
6.3.2. ボーリング交換用データ指定	6-6
6.3.3. 土性図一括印刷 (Ver.2.0.1~)	6-7
6.4. 土性図 VIEW	6-8
6.4.1. ファイル	6-9
6.4.2. 表示	6-9
6.4.3. 縮尺設定	6-10
6.4.4. 印刷設定	6-10
6.4.5. ヘルプ	6-12
6.5. 総合土性図	6-13
6.5.1. 総合土性図出力	6-13
6.5.2. 総合土性図 VIEW	6-13
6.5.3. 印刷設定	6-14
7. その他の機能	7-1
7.1. ツール	7-1
7.1.1. SRY→CALS4 一括変換	7-1
7.1.2. ウィンドウ表示位置・サイズを記憶	7-1
7.1.3. ウィンドウを常に前面に表示	7-1
7.1.4. ツールバーの表示・ステータスバーの表示	7-1
7.2. ヘルプ	7-2
7.2.1. 操作マニュアル	7-2
7.2.2. 電子納品要領・付属資料	7-2
7.2.3. バージョン情報	7-2



土性-BASE.NET・操作マニュアル

- Ver.1.0.0.0 2017/12：一覧表機能限定 Ver.
- Ver.1.0.0.1 2018/01：均等係数・液性限界・塑性限界・塑性指数の[-1]扱いを追加
- Ver.1.0.0.2 2018/02：土質試験結果一覧表データ(CALS3形式)・コマンドライン引数・送るメニュー対応
- Ver.1.0.1.2 2018/07：販売版認証システムの更新
- Ver.1.0.1.3 2019/05：「その他」試験項目について土質試験結果一覧表（基礎地盤）に表示するよう改修
- Ver.2.0.0.0 2020/08：「土性図」作成機能を追加
- Ver.2.0.1.0 2020/09：「土性図一括印刷」機能を追加
- Ver.2.1.0.0 2022/07：「土質試験結果一覧表一括印刷」「総合土性図」機能の追加・VIEW印刷設定機能追加

- Ver.5.1.0.0 2026/05：地質・土質成果電子納品要領（令和8年2月）対応

発行所 基礎地盤コンサルタンツ株式会社
情報システム部・システム開発室

〒135-8577 東京都江東区亀戸 1-5-7 錦糸町プライムタワー12階

問合せ先 e-mail : レンタル版 : kiso-cloud@kiso.co.jp

1. 土性-BASE.NET の概要

本章では、土性-BASE.NET の概要について説明します。

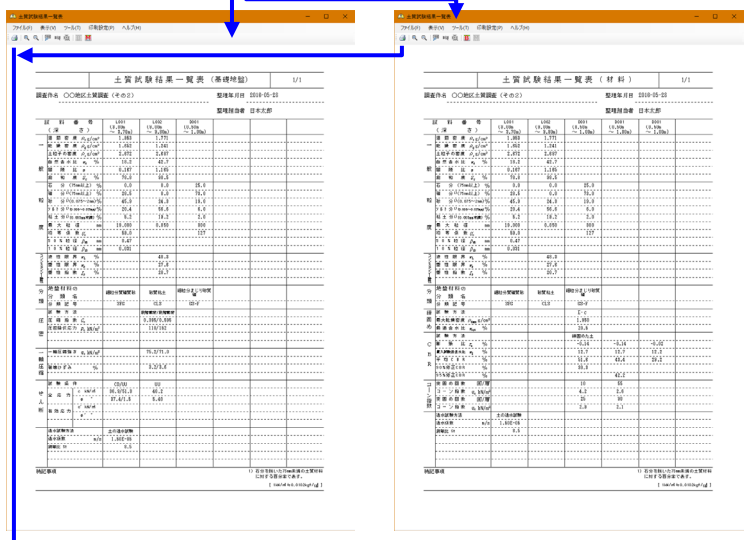
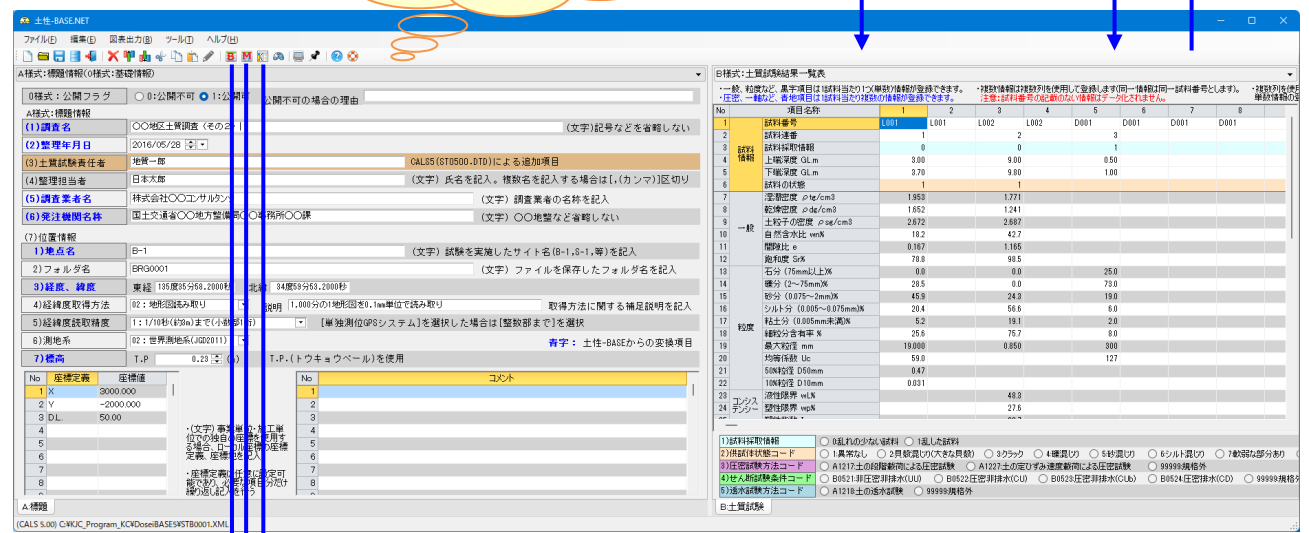
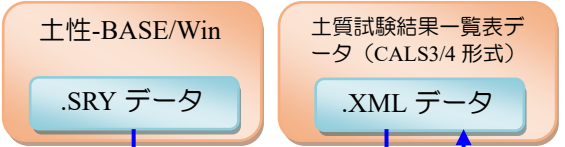
1.1. 土性-BASE.NET とは…

土性-BASE.NET は「土質試験結果一覧表・土性図」等を作成するシステムであり、土性-BASE/Win（土性図・深度分布図・相関図システム）の後継製品となります。

土性-BASE.NET を利用することで、「地質・土質成果電子納品要領（令和8年2月）」に規定された電子土質試験結果一覧表（基礎地盤・材料）および土質試験結果一覧表データを作成できます（以降、CALSS形式と言います）。

土性-BASE/Win で作成された.SRY 形式データを読み込み、土質試験結果一覧表データ（CALSS形式）に変換することもできます。

① 入力編集機能（エディタ）により土質試験結果一覧表データを作成し



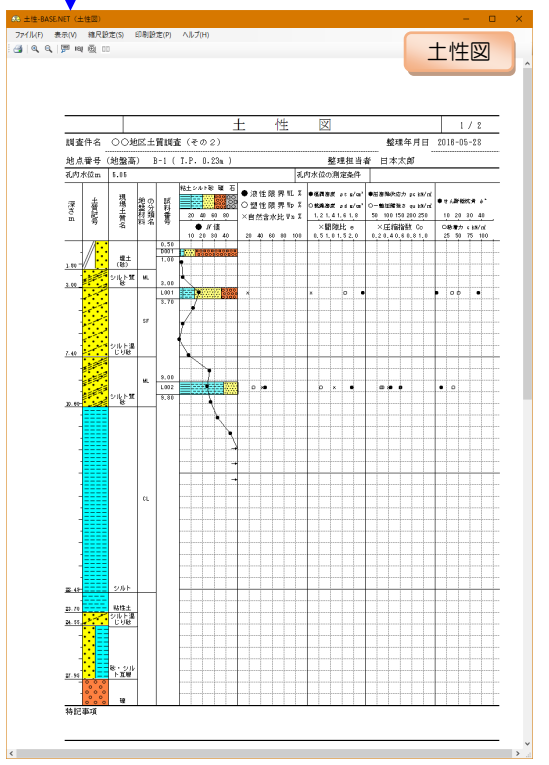
土質試験結果一覧表(基礎地盤)

電子土質試験結果一覧表 (CALSS形式)

.PDF データ

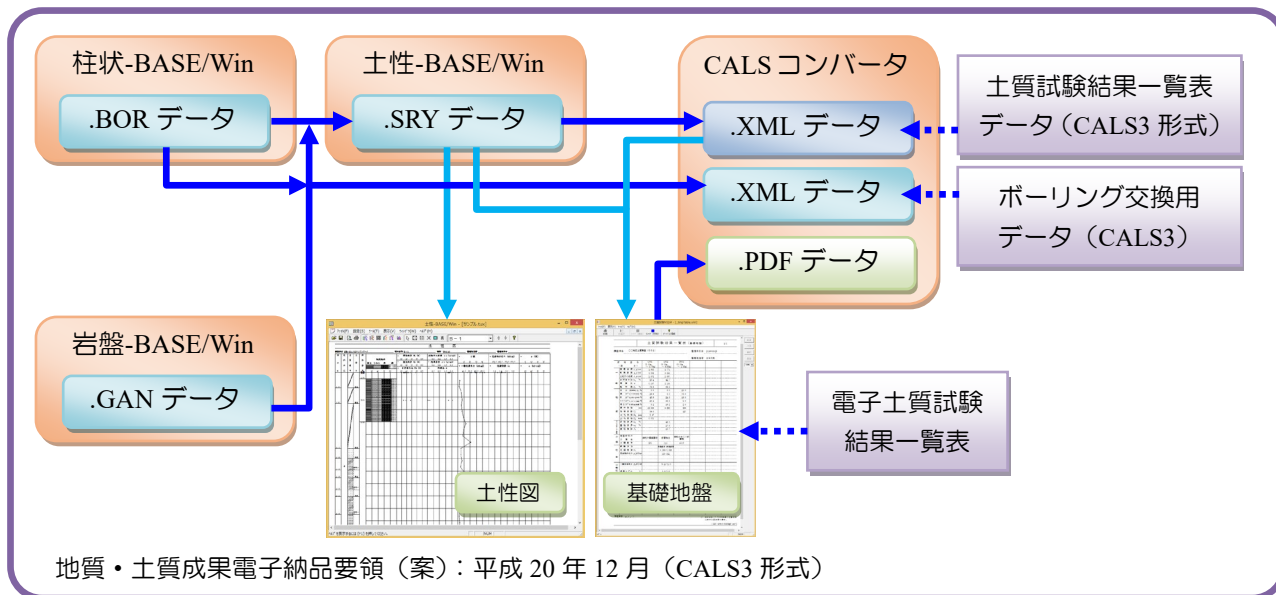
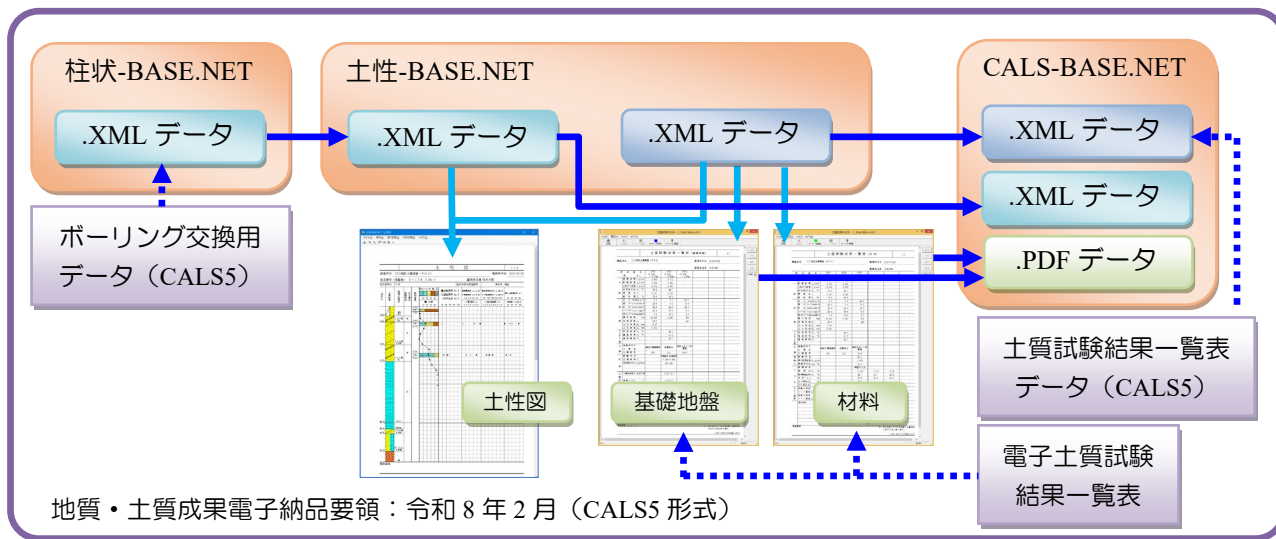
土質試験結果一覧表(材料)

② 一覧表機能により電子土質試験結果一覧表を作成 (印刷・PDF化) します。



1.2. 電子納品要領の違いによる処理系

「地質・土質成果電子納品要領：令和 8 年 2 月」によるデータ処理系と、「地質・土質成果電子納品要領（案）：平成 20 年 12 月」による処理系の違いについて下図に示します。

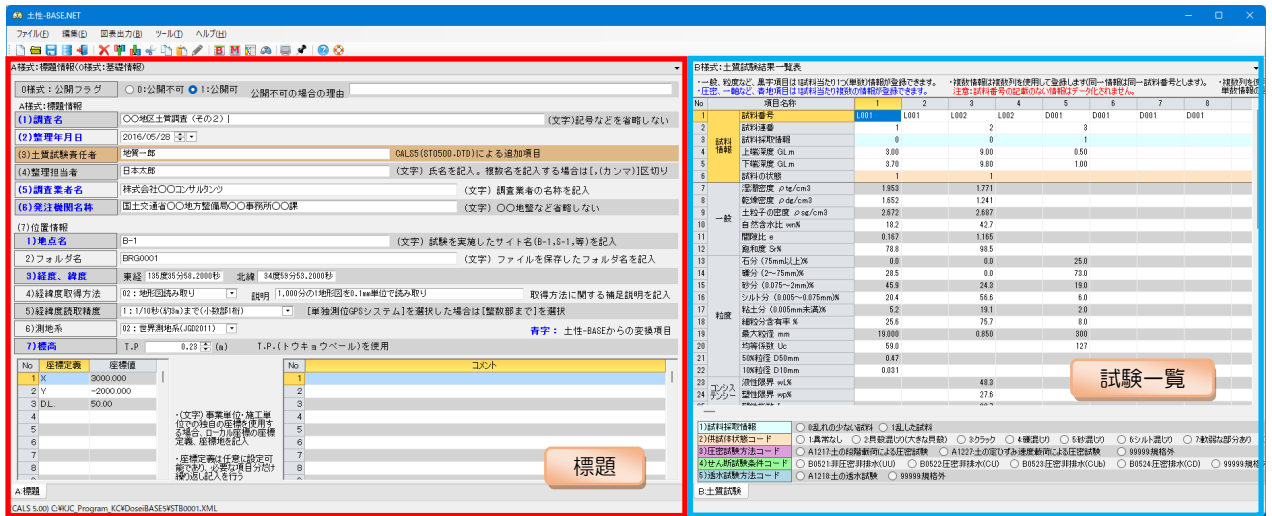


「地質・土質成果電子納品要領（案）：平成 20 年 12 月」に規定された電子土質試験結果一覧表（基礎地盤）および土質試験結果一覧表データの作成は、柱状-BASE/Win にバンドルされていた CALS コンバータ（Ver.6）で実施してきましたが・・・

「地質・土質成果電子納品要領：令和 8 年 2 月」に規定された電子土質試験結果一覧表（基礎地盤・材料）および土質試験結果一覧表データの作成は、本システム（土性-BASE.NET）にて実施して下さい。

1.3. 高い視認性による高効率と高精度

土性-BASE.NET でも他の BASE.NET シリーズと同様に、入力項目は自由にレイアウト可能なタブ上に配置されており、特に大画面 PC において高い視認性を発揮することで、電子土質試験結果一覧表（基礎地盤・材料）および土質試験結果一覧表データ作成における高い効率性と精度とを維持することが可能となります。



1.4. 土性-BASE/Win (.SRY データ)

土性-BASE/Win では各データ種別を項目定義の略称で指定しており、[土性-BASE.NET]ではこの略称を手掛かりとしてデータ変換を行います。

また一部のデータについては、項目定義の単位により係数をかけることで、土質試験結果一覧表データの単位に変換を行います。

下表に土質試験結果一覧表データの各項目と略称（単位）との関係を示します。

深度上限・深度下限の両方がブランクの場合、他試験データがあってもデータ化しないため注意して下さい。

項目名	略称				備考
試料番号	試料番号				
試料連番					1～連番
試料採取情報	試料採取				1/2
上端深度 GL.m	深度上限				深度が上下共がない場合はデータ化しない
下端深度 GL.m	深度下限				深度が上下共がない場合はデータ化しない
試料の状態	試料状態				1～8
湿潤密度 ρ_{tg}/cm^3	湿潤密度				
乾燥密度 ρ_{dg}/cm^3	乾燥密度				
土粒子の密度 ρ_{sg}/cm^3	比重				
自然含水比 $w_n\%$	含水比				
間隙比 e	間隙比				
飽和度 $S_r\%$	飽和度				
石分 (75mm以上)%	石分				
礫分 (2～75mm)%	礫分				
砂分 (0.075～2mm)%	砂分				
シルト分 (0.005～0.075mm)%	シルト分				
粘土分 (0.005mm未満)%	粘土分				
最大粒径 mm	最大粒径	粒径			どれか1つが有効となる
均等係数 U_c	均等係数				
50%粒径 $D_{50}mm$	50%粒径	平均粒径	D50		どれか1つが有効となる
10%粒径 $D_{10}mm$	10%粒径	有効粒径	D10		どれか1つが有効となる
液性限界 $w_L\%$	液性限界				
塑性限界 $w_p\%$	塑性限界				
塑性指数 I_p	塑性指数				
地盤材料の分類名	分類	分類名	分類記号	分類記号(日本)	英字からなるほうを記号とする
分類記号	分類	分類名	分類記号	分類記号(日本)	
圧密試験方法コード	圧密コード				
圧密試験方法	圧密試験				
圧縮指数 C_c	体積圧縮	体積圧縮係数			$cm^2/kgf = /98.1$ $m^2/MN = /1000.0$
圧密降伏応力 p_c kN/m ²	圧密応力	降伏応力			$kgf/cm^2 = *98.1$ $tf/m^2 = *9.81$
体積圧縮係数 C_v m ² /kN	圧縮指数				
圧密係数 m_v cm ² /d	圧密係数				
圧力範囲	圧力範囲				
一軸圧縮強さ q_u kN/m ²	一軸強度				$kgf/cm^2 = *98.1$ $tf/m^2 = *9.81$
破壊ひずみ $\epsilon_f\%$	破壊歪				
せん断試験条件コード					B0521 B0524 B0522 B0523
せん断試験条件					変換されない
せん断強さ(全応力) c kN/m ²	TcUU	cUU	TcCU	cCU	$kgf/cm^2 = *98.1$ $tf/m^2 = *9.81$
せん断抵抗角(全応力) ϕ 度	Tc2CU	TcCUB	cCUB	Tc2CUB	
	T ϕ 2CU	T ϕ CUB	ϕ CUB	ϕ 2CUB	
せん断強さ(有効応力) c' kN/m ²	Tc'CD	c'CD	TcCD	Tc' CUB	$kgf/cm^2 = *98.1$ $tf/m^2 = *9.81$
せん断抵抗角(有効応力) ϕ' 度	c' CUB	Tc' 2CUB			
	T ϕ' CD	ϕ' CD	T ϕ CD	T ϕ' CUB	
	ϕ' CUB	T ϕ' 2CUB			
締固め試験方法	締固試験				
最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³	締固密度				
最適含水比 $w_{opt}\%$	締固含水				
CBR試験方法	CBR試験				
CBR試験突固め回数 回/層	CBR回数				
膨張比 r_e	CBR膨張				
貫入試験後含水比 w_2	CBR含水				
平均CBR %	CBR平均				
締固め度 %	CBR締固				
修正CBR %	CBR修正				
コーン指数突固め回数 回/層	コーン回数				
コーン指数 q_c kN/m ²	コーン指数				
透水試験方法コード	透水コード				
透水試験方法	透水試験				
透水係数 k m/s	透水係数				$cm/s = /100$ $cm/sec = /100$
項目名	項目名				
試験値	試験値				

略称は半角・全角を区別しません。例えば[D50]と[D 5 0]は同一略称とします。

1.4.1. 細粒分含有率の扱い

土性-BASE/Win では、細粒分含有率のデータ表現として「シルト分に値を入力して、粘土分をブランクとする」ことで実施して来ました。

項目名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
試験番号	229										
深度上層	5.15	12.15	17.15	19.15							
深度下層	5.45	12.45	17.45	19.45							
湿潤密度											
乾燥密度											
土粒子の密度	2.649	2.651	2.644	2.613							
自然含水比	20.50	24.90	20.20	36.80							
液性限界											
塑性限界											
塑性指数											
石分											
砂分	95.8	86.4	83.4	87.3							
シルト分	4.2	11.5	1.8	12.3							
粘土分											
均等係数	2.50		2.21								
最大粒径	2.000	9.500	19.000	4.750							
曲率係数											
50%粒径	0.37000	0.30000	0.64000	0.14000							
20%粒径											
10%粒径	0.16000		0.33000								
液性限界											
塑性限界											
塑性指数											

試験番号	PF-1 (5.15m ~ 5.45m)	PF-2 (12.15m ~ 12.45m)	PF-3 (17.15m ~ 17.45m)	PF-4 (19.15m ~ 19.45m)
湿潤密度 ρ_w [g/cm ³]				
乾燥密度 ρ_d [g/cm ³]	2.649	2.651	2.644	2.613
土粒子の密度 ρ_s [g/cm ³]	20.5	24.9	20.2	36.8
自然含水比 w [%]				
液性限界 w_L [%]				
塑性限界 w_p [%]				
塑性指数 I_p [%]				
石分 (75mm以上) [%]	0.0	2.1	14.3	0.4
砂分 (0.075mm以下) [%]	85.3	86.4	83.4	87.3
シルト分 (0.075mm以下) [%]	4.2	11.5	1.8	12.3
粘土分 (0.0075mm以下) [%]				
均等係数 C_u	2.500	9.500	19.000	4.750
最大粒径 d_{max} [mm]	2.000			
曲率係数 C_c				
50%粒径 d_{50} [mm]	0.37000	0.30000	0.64000	0.14000
20%粒径 d_{20} [mm]				
10%粒径 d_{10} [mm]	0.16000		0.33000	
液性限界 w_L [%]				
塑性限界 w_p [%]				
塑性指数 I_p [%]				

電子納品要領では同様の規定がありませんので、本形式のデータを読み込んだ場合は、データの通り「シルト分に値があり、粘土分はブランク」として取り扱うため注意が必要です。

項目名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
試験番号	L001	L002	L002	D001	D001	D001	D001				
試験種類											
試験深度											
上層深度 GL [m]	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00				
下層深度 GL [m]	3.70	3.70	3.70	3.70	3.70	3.70	3.70				
試験粒径	1	1	1	1	1	1	1				
湿潤密度 ρ_w [g/cm ³]	1.853	1.771									
乾燥密度 ρ_d [g/cm ³]	1.652	1.241									
土粒子の密度 ρ_s [g/cm ³]	2.652	2.652									
自然含水比 w [%]	10.2	42.7									
液性限界 w_L [%]	8.187	1.185									
塑性限界 w_p [%]	79.9	95.5									
石分 (75mm以上) [%]	0.0	0.0		25.0							
砂分 (0.075~2mm) [%]	28.5	0.0		73.0							
シルト分 (0.075~0.075mm) [%]	20.4	55.6		6.0							
粘土分 (0.0075mm未満) [%]											
最大粒径 [mm]	19.000	9.500		300							
均等係数 C_u	59.0	127		127							
20%粒径 d_{20} [mm]	0.47										
10%粒径 d_{10} [mm]	0.031										
液性限界 w_L [%]				48.3							
塑性限界 w_p [%]				27.8							
塑性指数 I_p [%]				20.5							

試験番号	L001 (3.00m ~ 3.70m)	L002 (9.00m ~ 9.30m)	D001 (0.00m ~ 1.00m)
湿潤密度 ρ_w [g/cm ³]	1.953	1.771	
乾燥密度 ρ_d [g/cm ³]	1.652	1.241	
土粒子の密度 ρ_s [g/cm ³]	2.672	2.637	
自然含水比 w [%]	18.2	42.7	
液性限界 w_L [%]	0.167	1.165	
砂分 (0.075~2mm) [%]	73.8	95.5	
シルト分 (0.075~0.075mm) [%]	20.4	55.6	
粘土分 (0.0075mm未満) [%]			
最大粒径 d_{max} [mm]	19.000	9.500	300
均等係数 C_u	59.0	127	127
20%粒径 d_{20} [mm]	0.47		
10%粒径 d_{10} [mm]	0.031		
液性限界 w_L [%]			48.3
塑性限界 w_p [%]			27.8
塑性指数 I_p [%]			20.5

1.4.2. 均等係数・液性限界・塑性限界・塑性指数の扱い (Ver.1.0.0.1~)

電子納品要領では、均等係数において算定不能の場合、液性限界・塑性限界・塑性指数が NP の場合、それぞれ -1 を入力すると規定されています。

土性-BASE ではこれらの場合、*・NP・N.P・NPなどの文字列で入力される場合が多いため、任意の文字列あるいは0より小さな数値が入力されている場合に-1に置き換えるロジックを追加しました。

また、一覧表表示においては、それぞれ以下に表示置換されます。

- 均等係数=-1 の場合、[算定不能]を表示
- 液性限界・塑性限界・塑性指数=-1 の場合、[NP]を表示

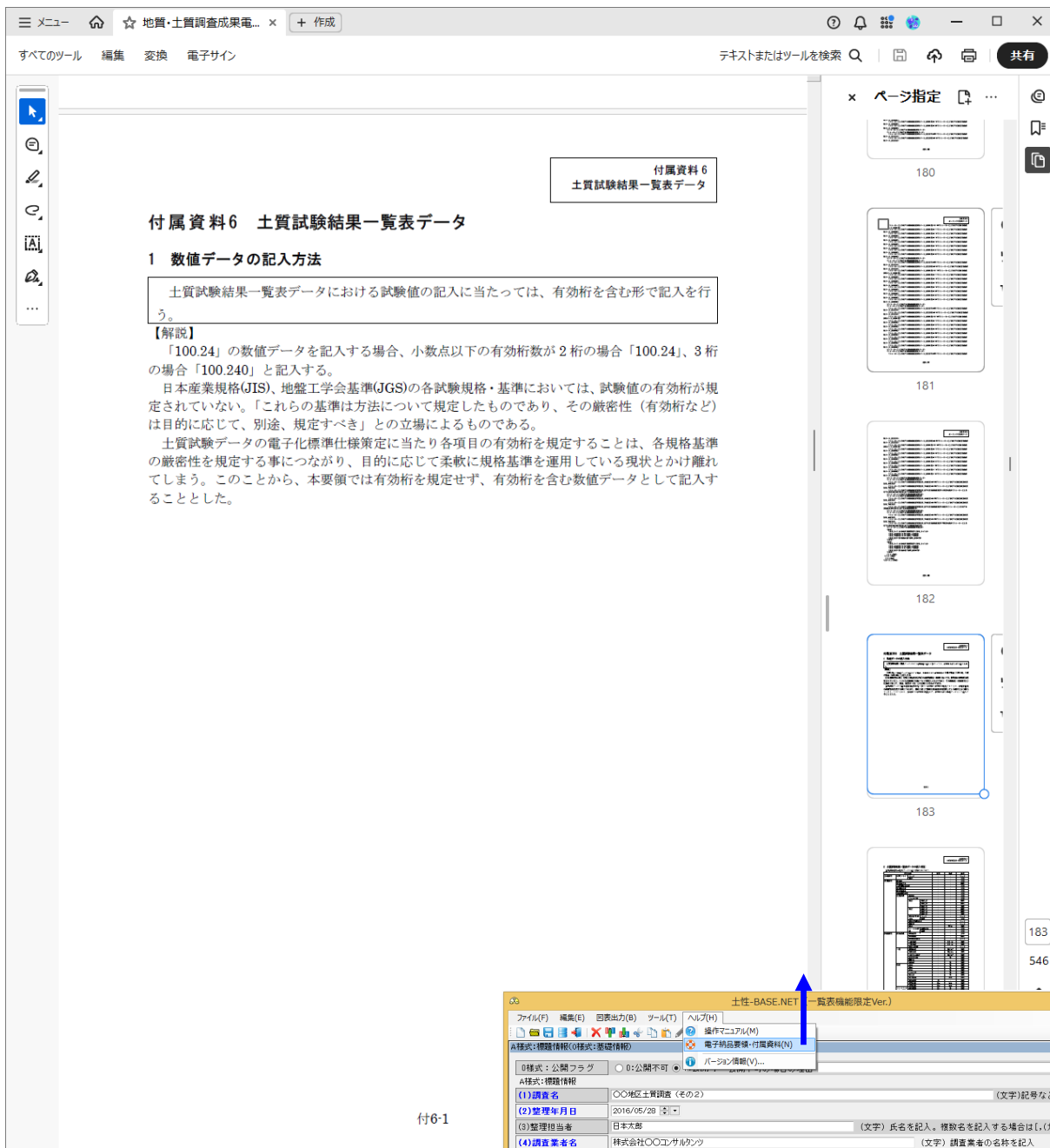


1.5. 入力項目の説明

本マニュアルでは、入力項目そのものの説明は行っていません。

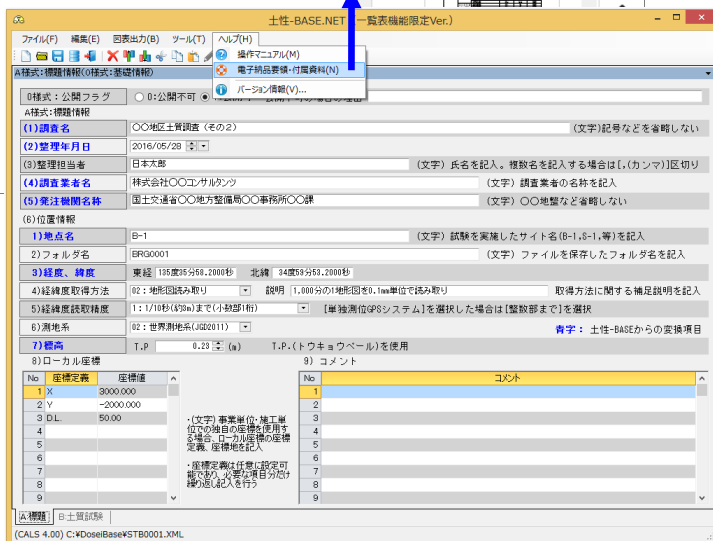
CALS5 形式の土質試験結果一覧表データの入力項目については「地質・土質成果電子納品要領（令和 8 年 2 月）」の「付属資料 6 土質試験結果一覧表データ」に詳細な説明があるため、そちらにて確認して下さい（boring_R8.2_3.pdf はインストールフォルダにあります）。

[ヘルプ]-[電子納品要領・付属資料]により、「付属資料 6 土質試験結果一覧表データ」の表示が可能です。



付6-1

「地質・土質成果電子納品要領(令和 8 年 2 月)」と共に提供された土質試験結果一覧表データのサンプルデータ（STB0001.XML）および土性-BASE/Win サンプルデータ（サンプル.SRY）が、システム登録先フォルダ内にあるため、これを読み込むことで入力データの具体例を確認することができます。

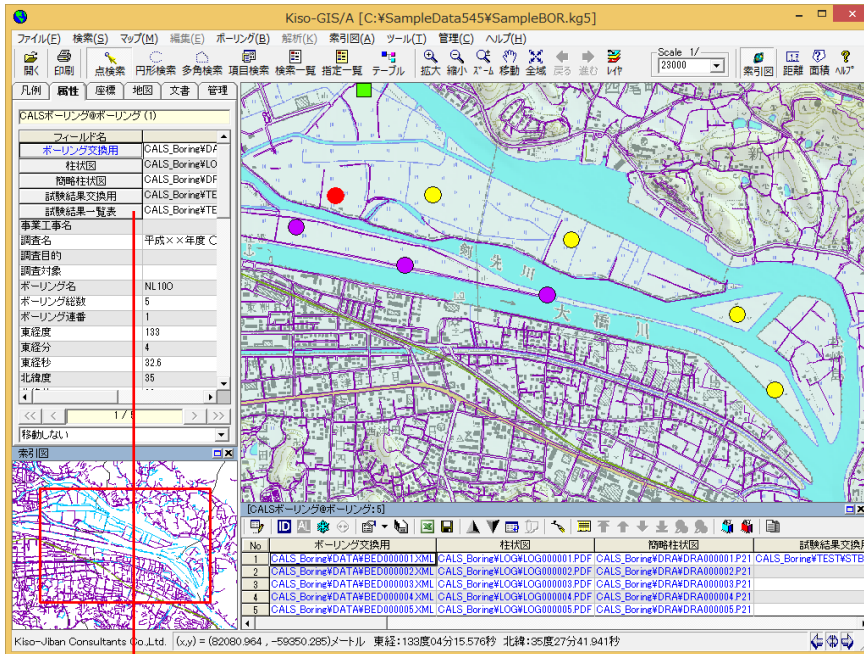
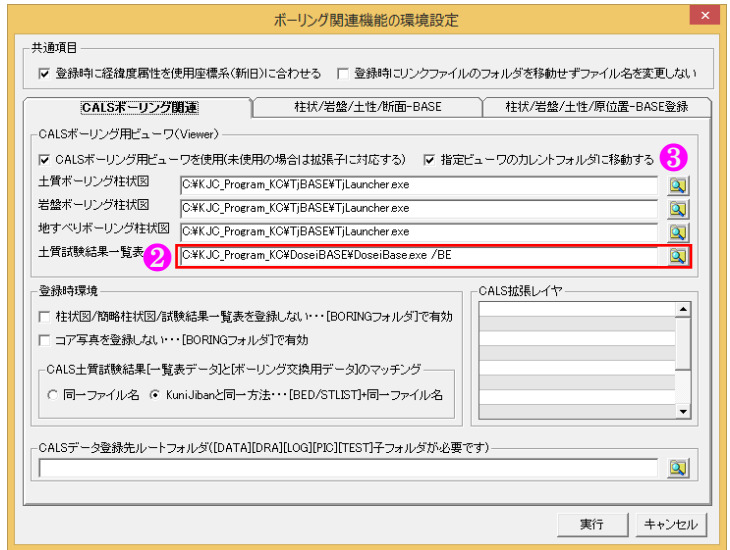


1.6. Kiso-GIS（地盤情報データベース）との連携

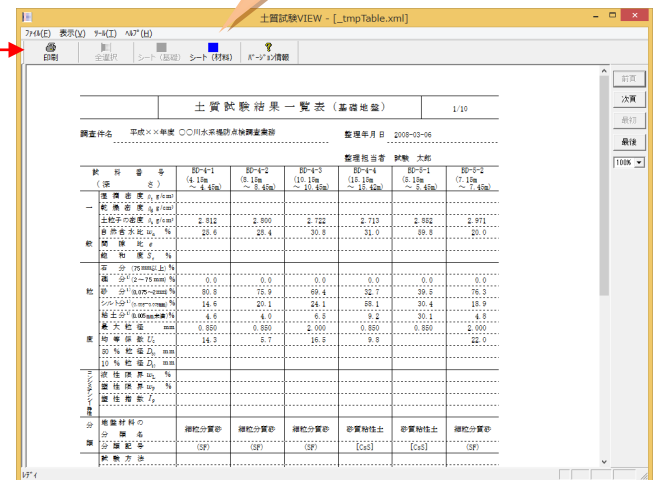
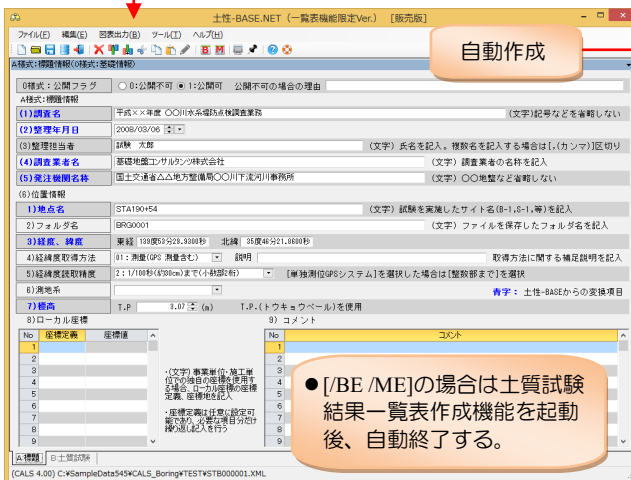
地盤情報データベースとの連携として、Kiso-GIS（弊社製品）との連携について記載します。

蓄積された土質試験結果一覧表データ（CALSS形式）のリンクシステムとして、本システム（DoseiBase.exe）が指定できます。

- ① [ボーリング]-[環境設定]をクリック
- ② [CALSS ボーリング用ビューワ（Viewer）]で [DoseiBase.exe]を指定します。
- ⚠ コマンドライン引数（/B /M /BE /ME）については下図を参照して下さい。
- ③ CALSS ボーリング用ビューワを使用および指定ビューワのカレントフォルダに移動するをチェックします。



- [B /BE]の場合は土質試験結果一覧表（基礎地盤）を作成
- [M /ME]の場合は土質試験結果一覧表（材料）を作成



- [BE /ME]の場合は土質試験結果一覧表作成機能起動後、自動終了する。

⚠ 土質試験結果一覧表データ（CALSS形式）を正しく扱うためには **Kiso-GIS Ver.5.4.5 以上が必要です。**
Ver.5.4.4 以前の場、[BORING]フォルダ指定した登録や柱状図一覧・断面図作成機能が正しく動作しません。

Memo



2. インストールガイド

本章では[土性-BASE.NET]のシステム入手～インストール（アンインストール）～起動（認証）～終了について説明します。運用形態として「レンタル版」と「販売版」とがあり、それぞれ手順が異なります。

2.1. レンタル版の利用

レンタル版の利用方法について説明します。以下の説明と共に、Kiso-Cloudの「〇〇-BASEのレンタル運用」マニュアルも確認して下さい（<https://kiso-cloud.com/ggs/Manual/ManualBaseSrv.pdf>）。

- 柱状-BASE.NET（入力編集機能）と同じライセンスで動作します。
- 既に当該 PC で柱状-BASE.NET が動作可能であれば、土性-BASE.NET のインストールのみで動作可能となります。

2.1.1. ダウンロードおよびインストール

Kiso-Cloud の[〇〇-BASE]レンタル運用ページから、使用するアプリケーションをダウンロードし、運用する PC にインストールします。

- ① Kiso-Cloud にログインし、メインメニューから[〇〇-BASE]レンタル運用をクリックします。
- ② [〇〇-BASE]レンタル運用画面で、[土性-BASE.NET Ver.5]をクリックします。
- ③ [保存]をクリックします。
- ④ [フォルダーを開く]をクリックします。
- ⑤ ダウンロードファイルを右クリックし[開く]を選択します（zip 解凍でも大丈夫です）。
- ⑥ [setup.exe]を起動し、インストールを開始します。
 - 実際の操作方法は、使用するブラウザおよびバージョンにより若干異なります。
 - setup.exe 起動後、Wizard の指示に従いインストールを行います。

● Google Chrome を利用した場合は、以下の警告が表示される場合がありますが、▼→[継続]をクリックして下さい（提供直後は DL 数が少なく Chrome の勝手な判断を止められません）。

一般的にダウンロードされておらず、危険を及ぼす可能性があります。

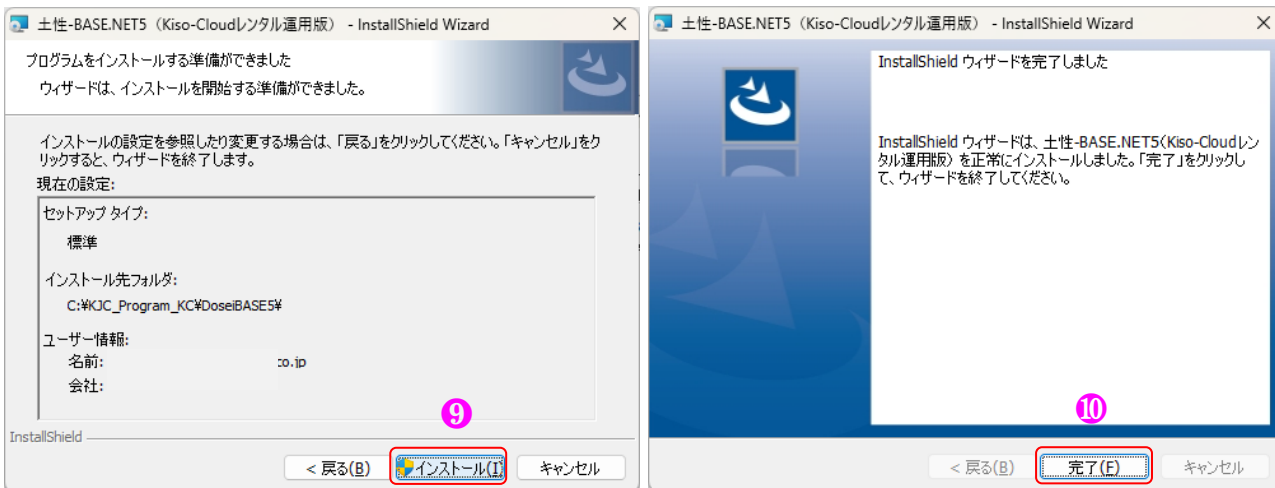
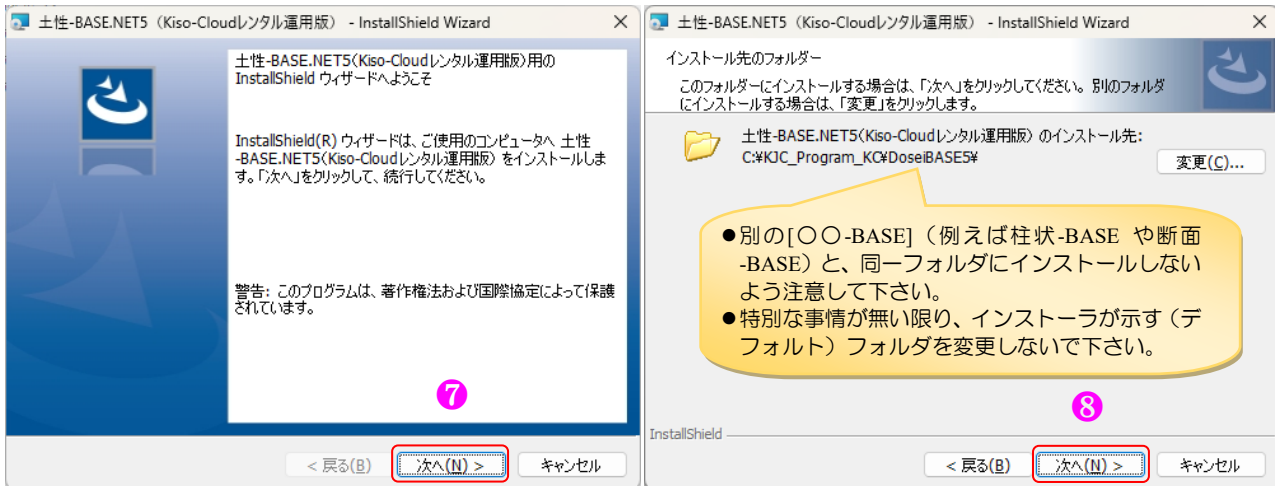
ソフトウェアの名称	ソフトウェアの内容	Ver.	最新版Rel	ファイル容量	マニュアル
[登録PC即時解除]機能	Kiso-Cloud認証システム	1.0.1.8	2020/05/25	約1MB	[こちら]
柱状-BASE.NET V.5.1.2.0 V.1.0.2.29	ボーリング柱状図作成 電子納品要領(R8/2)対応	5.1.2.0 1.0.2.29	2026/05/04 2020/03/18	約29MB 約33MB	[こちら] [こちら]
土性-BASE.NET V.5.1.0.0 V.2.1.0.0	土質試験結果一覧 土性図作成システム	5.1.0.0 2.1.0.0	2026/05/15 2022/07/10	約18MB 約19MB	[こちら] [こちら]
断面-BASE.NET	断面図・柱状一覧図作成 電子納品要領(H28/10)対応	1.1.0.0 1.0.0.12	2024/04/29 2022/09/28	約11MB 約10MB	[こちら]
CALS-BASE.NET	電子納品成果作成支援ツール 電子納品要領(H28/10)対応	1.0.1.4			
LIQ.NET	液状化簡易判定サービス	2.0.0.1			
数量柱状図作成システム	数量柱状図・実施数量表作成	1.0.0.3			
柱状-BASE/Win	JACIC様式土質柱状図作成	6.0i			
断面-BASE/Win	カラー断面図作成	6.03i			
土性-BASE/Win	土性、相関、深度分布図作成	4.00d			
javascript__doPostBack('ctl00\$CPH1\$lblDSN01')	JACIC様式岩盤柱状図作成	6.0i			

DoseiBaseNet5.zip のダウンロードが完了しました。

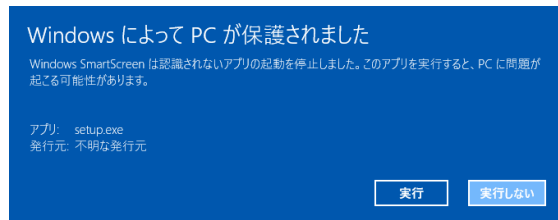
ダウンロード

名前: DoseiBaseNet5.zip
種類: 圧縮 (zip 形式) ファイル
サイズ: 18,008 KB
更新日時: 2026/05/15 15:43

名前: setup.exe
種類: アプリケーション
サイズ: 18.3 MB



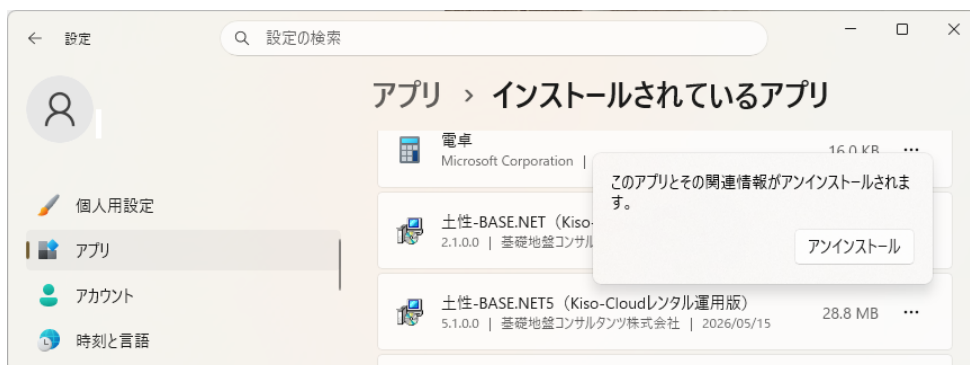
- インストールする PC の環境により（特に最新 OS 利用の場合）、セキュリティ警告が表示される場合がありますが、[実行][登録]などを選択してインストール作業を進めます。
- 再インストールの場合は、一旦アンインストールしてからインストールします。



2.1.2. アンインストール

アンインストールは、使用 OS により若干、操作方法が異なります。

- ① コントロールパネルの [プログラムと機能] ダイアログから[土性-BASE.NET]をクリックし、[アンインストール]をクリックすることにより実施します。
- ② あるいは、コントロールパネルの[プログラムの追加と削除]ダイアログから[土性-BASE.NET]をクリックし、[削除]ボタンを押すことにより実施します。
- ③ Windows11 では、[設定]→[システム]→[アプリと機能]から[土性-BASE.NET5]をクリックし[アンインストール]→[アンインストール]をクリックすることにより実施します。



2.1.3. Kiso-Cloud 認証システム

レンタル版の場合、システム起動直後に Kiso-Cloud 認証システムにより正規ユーザであることの認証を行います。

(1) 起動時認証

起動時に Kiso-Cloud に対して認証処理を行うため、**Internet 接続環境が必要**です。

- ① OO-BASE 起動時に Kiso-Cloud 認証画面が表示されます。
- ② Kiso-Cloud ID (ユーザ名・パスワード) をキー入力します。
- ③ 次回起動時に保存 ID を利用する場合は[認証成功時のユーザ名/パスワードを記憶]をチェックします。
- ④ [持ち出し処理]を行う場合、持ち出し日数 (1~14) を選択します。
- ⑤ [認証]をクリックします…認証を通過するとOO-BASE を起動します。
- ⑥ OO-BASE 起動を中止する場合は[キャンセル]をクリックします。

Kiso-Cloud認証システム：認証

ユーザ名

パスワード

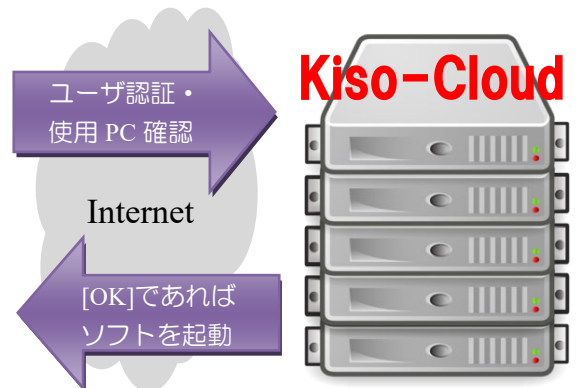
認証成功時のユーザ名/パスワードを記憶

持ち出し期間 0 日間(持ち出さない場合は0を選択)

注意:

- ・[ユーザID]当り[1台のPC]で運用可能です。
- ・持ち出し処理中は、起動時の確認ダイアログが非表示となりました。
- ・運用PCの変更は、まず[登録PC即時解除]システムを実行します。

Version: 1.0.1.4



- Kiso-Cloud サーバへの情報送信上の問題がある場合は、まず貴社（貴機関）のネットワーク管理者にご相談を頂き、解決しない場合は Kiso-Cloud 事務局宛にご相談下さい。
- セキュリティポリシー上、Kiso-Cloud への情報送信が許されない場合は、[レンタル運用]版はご使用になれません。

(2) ウイルス対策ソフトへの対応

Kiso-Cloud 認証システムでは、以下の情報を Kiso-Cloud サーバに送信します(これ以外の情報は送信しません)。

- ① ユーザ名 (入力値) ② パスワード (入力値) ③ 持ち出し日 (選択値)
- ④ コンピュータ名 ⑤ 起動システム名称 (土性-BASE.NET)

この「ローカルプログラムからインターネットサーバへのデータ送信」動作が、使用しているウイルス対策ソフトの種類および設定により、不正アプリケーションであると認識されてしまう場合があります。

この場合、ウイルス対策ソフトにより Kiso-Cloud サーバとの通信をブロックするか警告が出ますが、通信をブロックしない設定として下さい。

指定方法はウイルス対策ソフトにより異なりますが、以下に 1 例として「AVG アンチウイルス 無料版」での指定方法を示します。

① Kiso-Cloud 認証システムを誤って不正プログラムとして検出

② [追加のオプション]をクリック

③ [許可]をクリック

④ [例外プログラム]として許可

(3) 動作中認証

動作中は定期的に認証が行われます（1 度起動すると認証操作なしで、使い続けることができます）。

この際、起動時認証時に入力された **Kiso-Cloud ID** を利用して自動的に認証を行うため、ユーザが意識する必要はありませんが、Internet 接続環境が遅い（悪い）場合は認証処理に時間がかかるため、認証処理中はシステムの動作が遅くなる可能性があります。

動作中認証に失敗すると[名前を付けて保存]処理を実施後、システムを強制終了するため、システム動作中は必ず Internet 接続環境を維持して下さい（認証後に Network ケーブルを外す、無線 LAN を切るなどできません）。

(4) 持ち出し処理

動作 PC を Internet 接続環境のない現場に持ち出す、あるいは Internet 接続環境が安定しない場合は[持ち出し処理]を実施して下さい。操作は[1] 起動時認証 ④を参照下さい。

[持ち出し処理]中は、Kiso-Cloud 認証処理を行わないため上記ケースに対応しますが、以下の制限が発生します。

- 動作させる PC を変更することができません。
- Kiso-Cloud を解約することができません。

※ [持ち出し処理]中は[持ち出し終了]ダイアログが表示されなくなりました（Ver.1.0.1.*～）。

※ 後述する[登録 PC 即時解除]機能により、**[持ち出し処理]中でも解除が可能**となりました。登録 PC を解除すると自動的に[持ち出し処理]も解除となります。

※ **Kiso-Cloud** がメンテナンス等で停止する場合は、前もってメールにてお知らせするため、停止前に停止期間 + α で[持ち出し処理]を実施して下さい。

(5) 緊急避難措置（Ver.1.0.1.*～）

緊急避難措置とは、Kiso-Cloud サーバ障害あるいはネットワーク障害等により、Kiso-Cloud サーバと通信ができない場合に（**一度だけ**）7 日間の[持ち出し処理]に移行することで、Kiso-Cloud 認証を回避して利用を続けられる措置を言います。

適用には以下の条件を満たす必要があり、満たす場合は認証(緊急避難措置)ダイアログが表示されます。

- 使用 PC が、過去に正しく認証された経験を持つ（緊急避難措置は、直近の正しく認識されたアカウント ID で実施されるためです）。
- 最終認証後に、(6)に示す[登録 PC 解除]処理を実施していない。

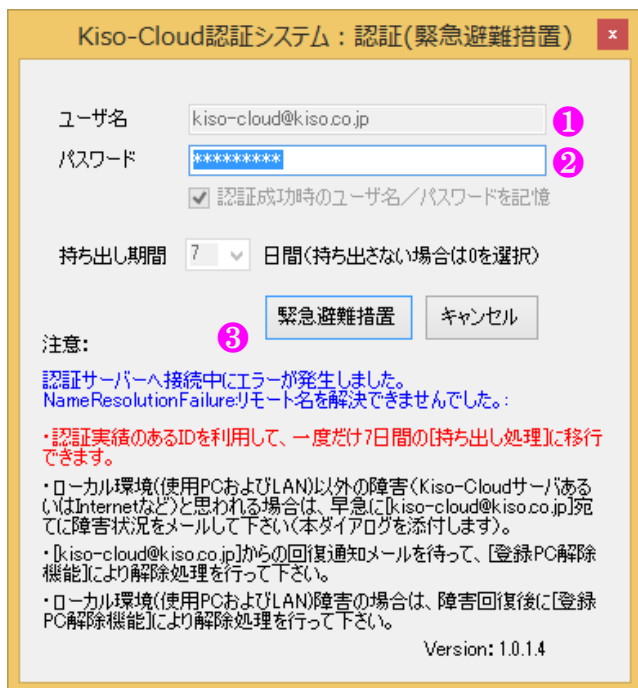
レンタル運用を正しく運用している状態で障害が発生した場合は、上記条件を満足するため、緊急避難措置が適用されます。

① ユーザ名には、直近の正しく認識された **Kiso-Cloud ID** が表示され変更できません。

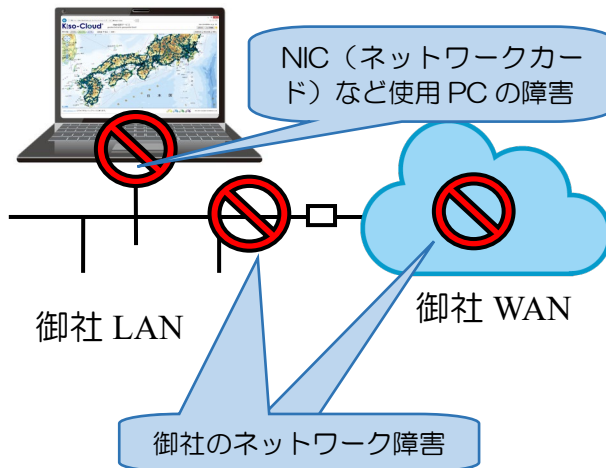
② 対応するパスワードを入力します（認証時に[認証成功時のユーザ名/パスワードを記憶]がチェックされていた場合はパスワードも*表示されます）。

③ [緊急避難措置]をクリックすると、Kiso-Cloud 認証を回避して 7 日間の[持ち出し処理]に移行します。

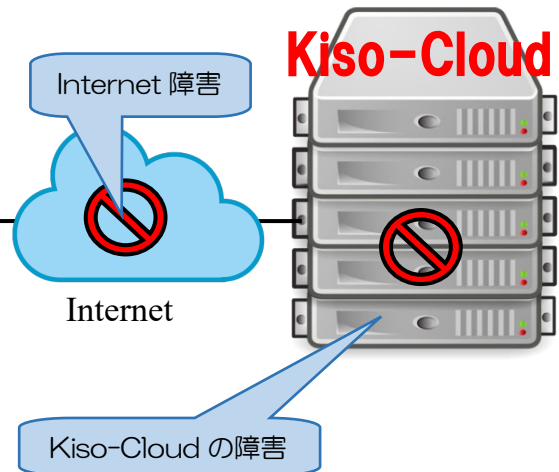
- ローカル環境(使用 PC および LAN)以外の障害(Kiso-Cloud サーバあるいは Internet など)と思われる場合は、早急に[kiso-cloud@kiso.co.jp]宛てに障害状況をメールして下さい（本ダイアログを添付します）。
- [kiso-cloud@kiso.co.jp]からの回復通知メールを待って、[登録 PC 解除機能]により解除処理を行って下さい。
- ローカル環境(使用 PC および LAN/WAN)障害の場合は、障害回復後に[登録 PC 解除] 機能により解除処理を行って下さい。



- ローカル環境(使用 PC および LAN/WAN)障害の場合は、御社の情報システム部門にご相談のうえ、障害回復をお願いします。
- 障害回復後、[登録 PC 解除機能]により解除処理を行って下さい。



- ① ローカル環境障害以外(と想定される)場合は、早急に[kiso-cloud@kiso.co.jp]宛てに障害状況をメールして下さい。
- ② [kiso-cloud@kiso.co.jp]からの回復通知メールを待って、[登録 PC 解除機能]により解除処理を行って下さい。



(6) [登録 PC 解除]処理

「〇〇-BASE の動作 PC を変更する」ためには、[登録 PC 解除]処理を行う必要があります。

- ① Kiso-Cloud にログインし、メインメニューから [〇〇-BASE] レンタル運用をクリックします。
- ② [登録 PC 即時解除]機能をクリックし、インストーラをダウンロードしてインストールします(インストール方法の詳細は、[3.〇〇-BASE]のダウンロードおよびインストールを参照)。
- ③ レンタル運用対象となるシステムが起動していると解除処理ができないため、前もってシステムを終了しておきます。
 - 〇〇-BASE には販売版とレンタル版とがありますが、本システムからはレンタル版であることが分からないので、販売版起動中でも警告が出ます。申し訳ありませんが販売版も一旦終了願います。
- ④ メニュー[地質調査ソフトウェア (Kiso-Cloud レンタル運用)]-[登録 PC 即時解除]をクリックします。→[登録 PC 即時解除]ダイアログが表示されます。
 - ウイルス対策ソフト等により通信をブロックする警告が出た場合、通信をブロックしない設定とします(4.2 参照)。
- ⑤ 解除すべき PC に紐付いている Kiso-Cloud ユーザ ID ([ユーザ名(メールアドレス)] [パスワード]) をキー入力し、[登録 PC 解除]をクリックします。

- 予約解除：Web サービスによる[登録 PC 解除]処理(操作日の翌朝実施されるため、同一日以内での動作 PC 変更は不可能)は 2017/07 末で終了となりました。
- 「〇〇-BASE の動作 PC を直ぐに変更したい!!」とのご要望を受け、専用プログラムによる即時解除機能を 2017/05~追加しました。また、2017/08~は持ち出し処理中でも解除可能となるよう機能改良しました。

Kiso-Cloud [〇〇-BASE] レンタル運用
geotechnical & geospatial SaaS

Kiso-Cloud ライセンス認証システム ([登録 PC 解除]処理)
・注意：[登録 PC 解除]処理サービスは 2017/07/31 で終了となり [登録 PC 即時解除]機能に一本化されました。

同メニューから登録 PC 解除

地質調査データ処理ソフトウェアシリーズ ([レンタル運用]ダウンロード)

ソフトウェアの名称	ソフトウェアの内容	Ver.	最新版Rel	ファイル容量	マニュアル
[登録 PC 即時解除]機能	Kiso-Cloud 認証システム	1.0.1.4	2017/08/01	約 2MB	[こちら]
柱状-BASE.NET(製品版)	地質・土質成果電子納品要領 (H28/10) 対応	1.0.2.0	2017/08/01	約 25MB	[こちら]
柱状-BASE/Win	JACIC 様式土質柱状図作成	6.01	2016/06/11	約 31MB	[こちら]
断面-BASE/Win	カラー断面図作成	6.03	2015/12/07	約 10MB	[こちら]
土性-BASE/Win	土性、相関、深度分布図作成	4.00d	2015/12/19	約 10MB	[こちら]
土性-BASE-CALS4 コンバータ	土質試験結果一覧表データ	1.0.0.1	2017/07/09	約 12MB	[こちら]
岩盤柱状-BASE/Win	JACIC 様式岩盤柱状図作成	6.01	2015/12/19	約 33MB	[こちら]
原位土-BASE/Win (平成 28 年 10 月：電子納品要領対応)					
スウェーデン式サウンディング試験	結果図・記録用紙	6.00	2017/04/09	約 12MB	[こちら]
オランダ式二重管コーン貫入試験	結果図・記録用紙	5.00	2017/04/09	約 12MB	[こちら]
孔内水平載荷試験 [TYPE-A]	LLT 結果表・作図	4.00	2017/04/09	約 10MB	[こちら]
孔内水平載荷試験 [TYPE-B]	プレシオメータ結果表・作図	4.00	2017/04/09	約 10MB	[こちら]

地質調査ソフトウェア (Kiso-Cloud レンタル運用)

登録 PC 即時解除

土性-BASE CALS4 コンバータ (Kiso-Cloud レンタル運用)

Kiso-Cloud 認証システム：登録 PC 即時解除

ユーザ名 kiso-cloud@kiso.co.jp

パスワード *****

コンピュータ名 HQPC0001

登録 PC 解除

注意：
・[即時解除]処理は登録 PC からのみ実施可能です。
・持ち出し処理中でも [即時解除]可能となりました。

Version: 1.0.1.4

(7) エラーメッセージ

Kiso-Cloud 認証システムが表示する主なエラーメッセージおよび対処方法について下表に示します。

エラーメッセージ	対処方法	認証	解除
サーバとの時間差が5分以上あるため、認証処理を実施できません。	使用している PC の時間を正しく修正して下さい。	○	○
ユーザ認証 (ログイン) に失敗しました。	Kiso-Cloud の ID として正しいことを確認して下さい。	○	○
利用パターンが異なります ([パターン 2]あるいは[パターン 3]でなければ動作しません)。	有償サービス[パターン 2 あるいは 3]の申し込みが有効であることを確認して下さい。	○	○
別 PC (登録コンピュータ名) が登録されているため、本システムを実行できません。	表示されたコンピュータから[登録 PC 解除]処理を行い、解除後に再度、〇〇-BASE を起動および認証して下さい。	○	
指定されたユーザ ID では PC が登録されていないため、他 PC でのライセンス認証が可能です。	既に[登録 PC 解除]済みです。		○
登録 PC が異なります (即時解除)処理は登録 PC からのみ実施可能です)。	登録した PC とは別の PC から実施した場合に表示されます。		○

(8) [登録 PC 一覧表示]機能 (2017/05~)

複数[ユーザ ID]を複数人で共有運用しているユーザに対し、[ユーザ ID と登録 PC との関連付け]を一覧形式で提供します。使用可能なユーザ ID (メールアドレス) や、[解除要請]すべき PC 名を知ることができます。

提供可能な範囲は同一ドメインで、かつ[同一ドメインユーザからの登録 PC 照会]に対して[応答する]が選択されているユーザ ID となります。

- ① [同一ドメインユーザからの登録 PC 照会]に対して、自身の[ユーザ ID と登録 PC との関連付け]を開示する場合は[応答する]を、開示しない場合は[応答しない]をクリックします。
- ② [同一ドメインの登録 PC を照会する]ボタンをクリックすると、登録 PC 一覧[ユーザ ID と登録 PC との関連付け]が表示されます。

Kiso-Cloud ライセンス認証システム (〇〇-BASE) レンタル運用

注意: [登録PC解除]処理サービスは2017/07/31で終了となり[登録PC即時解除]機能に一本化されました。

同一ドメインユーザからの登録PC照会 応答する 応答しない

同一ドメインの登録PCを照会する お試し期間中は使用できません。

・複数[ユーザID]を複数人で共有運用しているユーザに対し、[ユーザIDと登録PCとの関連付け]を一覧形式で提供します(2017/05~)。
 ・使用可能なユーザID (メールアドレス) や、[解除要請]すべきPC名を知ることができます。

Kiso-Cloud ライセンス認証システム (〇〇-BASE) レンタル運用 ・登録PC一覧表示

照会ドメイン: kiso.co.jp 照会時間: 2017/05/12 18:25:47

ID	メールアドレス	登録PC名	解除年月日
78	nkc01.sample@kiso.co.jp	HQPC0001	2017年05月13日(土)
79	nkc02.sample@kiso.co.jp	HQPC0002	
80	nkc03.sample@kiso.co.jp		
81	nkc04.sample@kiso.co.jp		
82	nkc05.sample@kiso.co.jp	KTPC0005	2017年05月13日(土)
83	nkc06.sample@kiso.co.jp	KTPC0001	2017年05月16日(火)
84	nkc07.sample@kiso.co.jp	KTNT0003	
85	nkc08.sample@kiso.co.jp		
86	nkc09.sample@kiso.co.jp		
87	nkc10.sample@kiso.co.jp	KYNT0021	

同ドメインで、かつ[同一ドメインユーザからの登録 PC 照会]に対して[応答する]が選択されているユーザ ID の一覧

持ち出し処理されている場合は、持ち出し終了日の翌日が解除 (予定) 年月日となる。

[登録 PC 名]欄がブランドのユーザ ID は、運用 PC を直ぐに変更

[登録 PC 解除]処理を実施済みのアカウントは解除 (予定) 年月日が表示される (暫定)。Web サービスによる[登録 PC 解除]処理は 2017/07 末で終了となった為、解除年月日は不要となります。

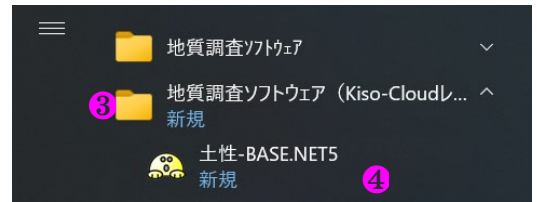
2.2. システムの起動および終了

2.2.1. システムの起動

[土性-BASE.NET]の起動方法について以下に示します。

(1) [スタートメニュー]から起動

- ① Windows タスクバーの[スタート]ボタンをクリック
- ② [すべてのアプリ]あるいは[すべてのプログラム]をクリック
- ③ [地質調査ソフトウェア (Kiso-Cloud レンタル運用)]をクリック
- ④ [土性-BASE]-[土性-BASE.NET]をクリック



(2) ドラッグ&ドロップによる起動

土質試験結果一覧表データをデスクトップ上の土性-BASE.NET ショートカットアイコンにドラッグ&ドロップします。

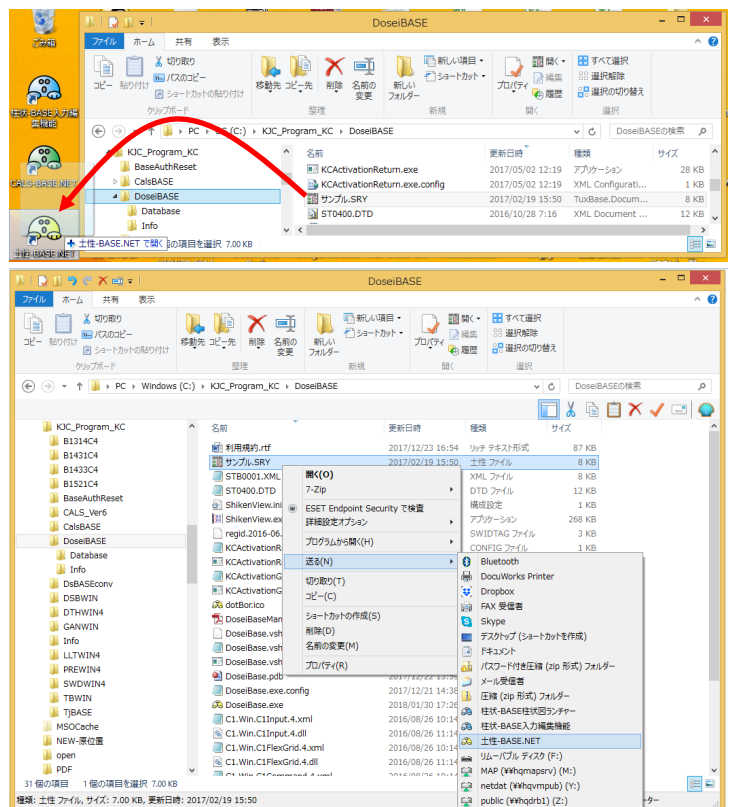
CALS4 形式のみでなく、土性-BASE(.SRY)・土質試験結果一覧表データ (CALS3 形式) も可能です。

(3) [送る]メニューからの起動

ファイルエクスプローラから、土質試験結果一覧表データを右クリックし、[送る]-[土性-BASE.NET]をクリックします。



CALS4 形式のみでなく、土性-BASE(.SRY)・土質試験結果一覧表データ (CALS3 形式) も可能です。

(2)(3)は Ver.1.0.0.2~の機能です。



2.2.2. システムの終了

[土性-BASE.NET]を終了するには、以下の3方法があります。

- ① メニュー[ファイル]-[アプリケーションの終了]をクリック
- ② アプリケーションコントロール () をクリックし、[閉じる]をクリック
- ③ メインウィンドウ右上の[閉じる]ボタン () をクリック

指定状況の破棄注意メッセージが表示された場合は、指定状況を失いたくない場合は[キャンセル]を、問題ない場合は[OK]をクリック

Memo

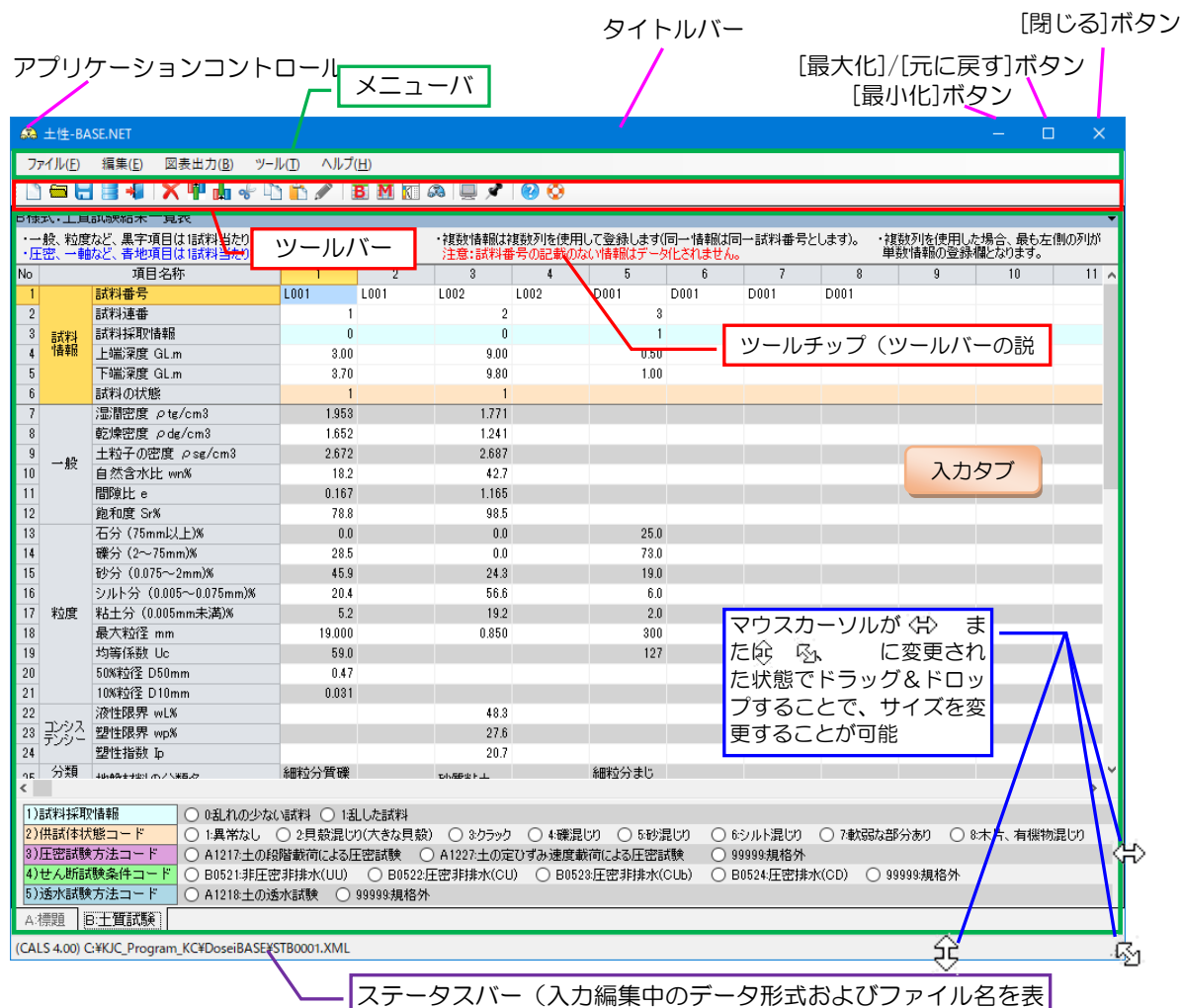


3. 画面構成

[土性-BASE.NET]の画面構成について以下に示します。

3.1. メイン画面構成

画面上部には「メニューバー」と「ツールバー」が、画面中央には「入力タブ」が、画面下部には「ステータスバー」が表示されます。



メイン画面の各部名称

- ① アプリケーションコントロール
メインウィンドウの状態を変更するコマンドが集められています。
- ② タイトルバー
実行中のアプリケーションの名前[土性-BASE.NET]が表示されます。
- ③ メニューバー
メニューの一覧が表示されます。メニューを開くとコマンドの一覧が表示され、ここから目的のコマンドを選択して実行します。
- ④ ツールバー
操作頻度の高いコマンドについては、メニューからコマンドを実行する代わりにツールバーにあるアイコンをクリックしてコマンドを実行することができます (メニューと同一アイコンとなります)。
- ⑤ ステータスバー
入力編集集中のデータ形式およびファイル名を表示します。
- ⑥ 入力タブ
様式毎に土質試験結果一覧表データの入力項目を整理・表示します。

3.2. メニューおよびツールバー構成



メニュー	項目	細目	Tool	機能
ファイル (F)	新規 (N)...			新しく土質試験結果一覧表データを作成する場合に選択します。
	ファイルを開く (O)... Ctrl+O			入力編集のもととなる土質試験結果一覧表データファイルを指定します。
	上書き保存 (S) Ctrl+S			入力編集中の土質試験結果一覧表データをファイルとして保存します。
	名前を付けて保存 (A)...			入力編集中の土質試験結果一覧表データをファイルとして名前を付けて保存します。
	アプリケーションの終了 (X)			[土性-BASE.NET]を終了します。
編集 (E)	項削除 (S)			[B:土質試験]の一覧表入力において、選択されたセルのデータを削除します。
	列挿入 (I)			[B:土質試験]の一覧表入力において、選択された範囲行の上に (範囲行分の) 行を挿入します。
	列削除 (D)			[B:土質試験]の一覧表入力において、選択された範囲行を削除します。
	切り取り (T) Ctrl+X			[B:土質試験]の一覧表入力において、選択されたセルのデータを切り取り (削除してクリップボードにコピー) します。
	コピー (C) Ctrl+C			[B:土質試験]の一覧表入力において、選択されたセルのデータを (クリップボードに) コピーします。
	貼り付け (P) Ctrl+V			[B:土質試験]の一覧表入力において、選択されたセルに (クリップボードに) コピーしたデータを貼り付けます。
	常時入力モード (M)			[B:土質試験]の一覧表入力において、通常⇄常時入力モードを切り替えます。
図表出力 (B)	土質試験結果一覧表 [基礎地盤] (B)...			土質試験結果一覧表 [基礎地盤] を作成します。
	土質試験結果一覧表 [材料] (M)...			土質試験結果一覧表 [材料] を作成します。
	土性図 (D)...			[土性図]を作成します。
	ポーリング交換用データ指定 (B)...			[土性図]に使用するポーリング交換用データを指定します。
	土質試験結果一覧表一括印刷 (T)...			複数の土質試験結果一覧表を一括してデフォルトプリンタに印刷します。(Ve.2.1~)
	土性図一括印刷 (P)...			複数の土性図を一括してデフォルトプリンタに印刷します。(Ve.2.0~)
	総合土性図 (S)...			[総合土性図]を作成します。(Ve.2.1~)
ツール (T)	ウィンドウ表示位置・サイズを記憶 (W)			機能を有効とすると、システム終了時のウィンドウ表示位置・サイズ (タブレイアウト) を記憶します (次回起動時に復元)。
	ウィンドウを常に最前面に表示 (T)			機能を有効とすると、メイン画面が常に前面に表示され、他の Window に隠れることがありません。
	ツールバーの表示 (V)			ツールバーの表示/非表示を切り替えます。
	ステータスバーの表示 (S)			ステータスバーの表示/非表示を切り替えます。
ヘルプ (H)	操作マニュアル (M)			本操作マニュアルを表示します (PDF 閲覧ソフトウェアがインストールが必要)。
	電子納品要領 (N)			表示中の [管理ファイル] に対応した「地質・土質調査成果電子納品要領」ページを表示します (PDF 閲覧ソフトウェアがインストールが必要)。
	バージョン情報 (V)...			バージョン情報等を表示します。

3.3. コンテキストメニュー構成

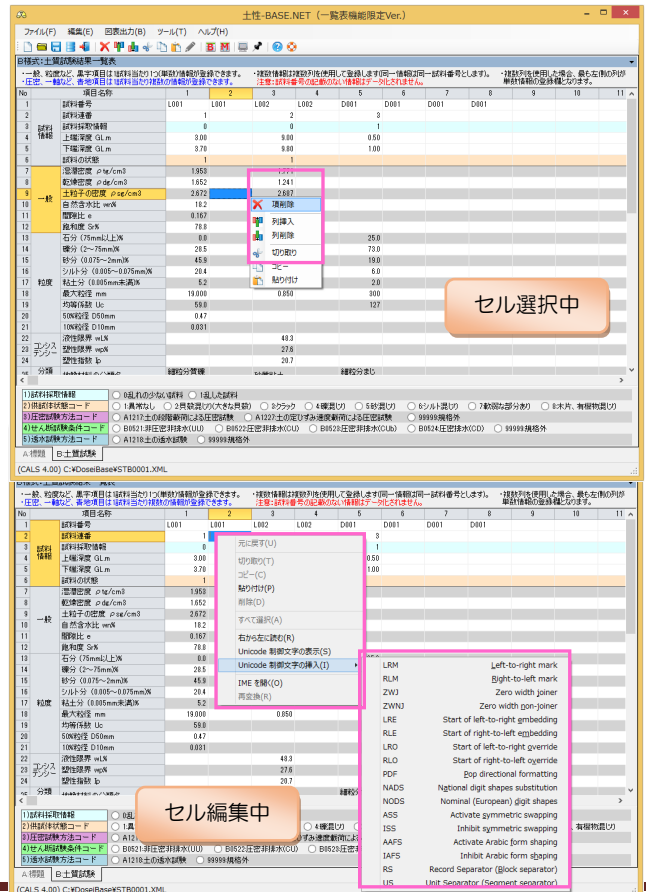
[B:土質試験]の[土質試験結果一覧表]入力において、マウスの右ボタンをクリックするとコンテキストメニューが表示されます。

セル**選択**中とセル**編集**中とで表示されるコンテキストメニューは変更されます。

セル**選択**中に表示されるコンテキストメニューは、選択状況に応じて[編集]機能が表示されます (5.4.2 編集) 以降を参照して下さい)。

セル**編集**中に表示されるコンテキストメニューについて以下に示します。

- 元に戻す：編集結果をもとに戻します。
- 切り取り・コピー・貼り付け・削除：[編集]機能と同一です。
- すべて選択：編集集中データを選択状態とします。
- 右から左に読む：右寄せとなります。
- Unicode 制御文字の表示：入力データに Unicode 制御文字が含まれている場合に表示します (通常は利用しません)
- Unicode 制御文字の挿入：入力データに Unicode 制御文字を挿入します (通常は利用しません)
- IME (漢字変換) を ON にします。
- 再変換：再度、漢字変換を実施します。



4. ファイル関連機能

本章では、ファイル関連機能について説明します。

Windows アプリケーションの流儀 (Microsoft 流) に従い、[ファイル][フォルダ]関連メニューは最後に配置しており、基本的にメニュー左側から機能説明していますが、5章の説明を先に確認して頂いたほうが解り易いと思います。

[ファイル]メニューには、主にファイル入出力関係の機能が割り当てられています。

- ① 土性-BASE(.SRY)、CAL5 土質試験結果一覧表データ (Ver.5.00・Ver.4.00・Ver.3.00) 形式のデータが入力ファイルとなります。
- ② CAL5 土質試験結果一覧表データ (Ver.5.00) 形式データが出力ファイルとなります (CAL55 形式と称します)。

4.1. 新規

新しく土質試験結果一覧表データの入力編集を行う場合に選択します。

編集中的数据がファイル保存されていない (保存後に再編集された) 場合は破棄注意メッセージが表示されますので、編集中的数据を失いたくない場合は[キャンセル]を、問題ない場合は[OK]をクリックします

4.2. ファイルを開く

編集元となる土質試験結果一覧表データを読み込みます (A 様式がアクティブなタブとなります)。

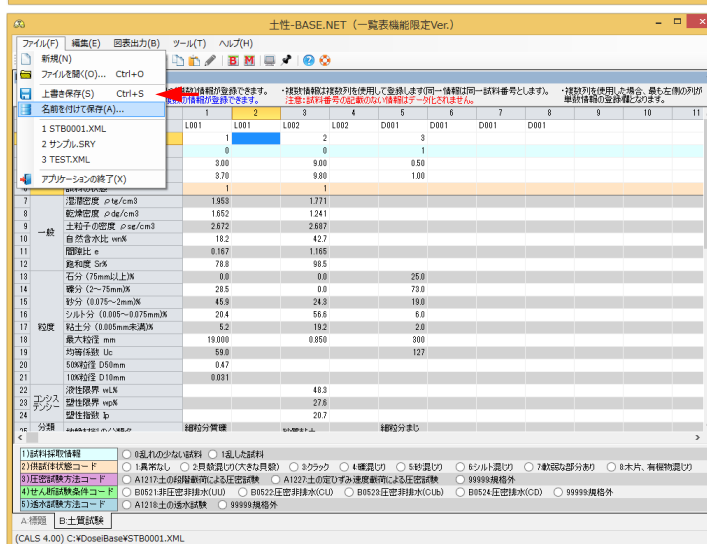
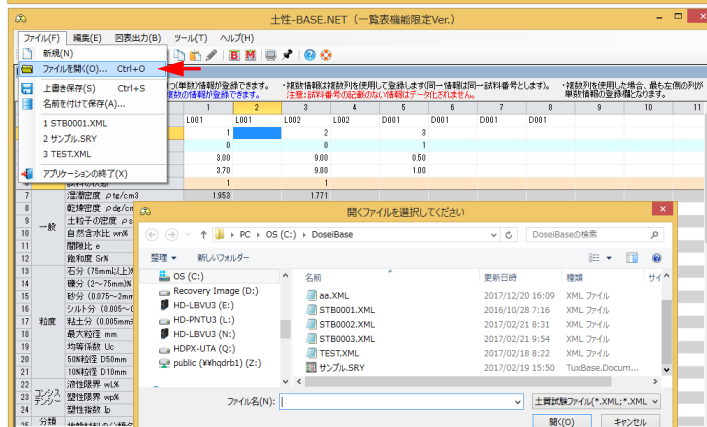
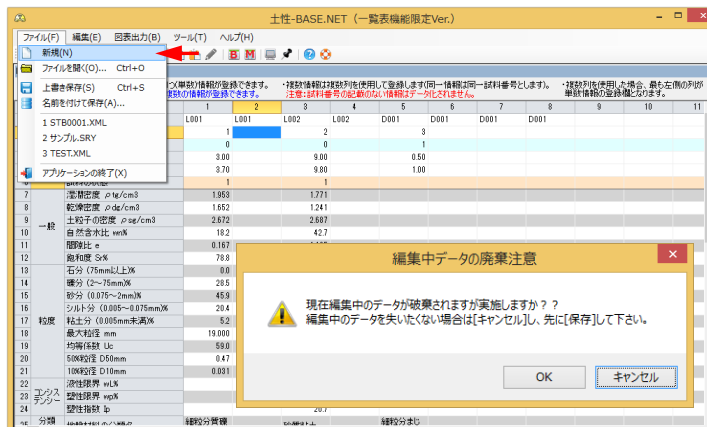
土性-BASE(.SRY)、CAL5 土質試験結果一覧表データ (Ver.5.00・Ver.4.00・Ver.3.00) 形式のデータを指定できます。

編集中的数据がファイル保存されていない (保存後に再編集された) 場合は破棄注意メッセージが表示されます。

Ver.1.0.0.2~土質試験結果一覧表データ (CAL53 形式) に対応しました。

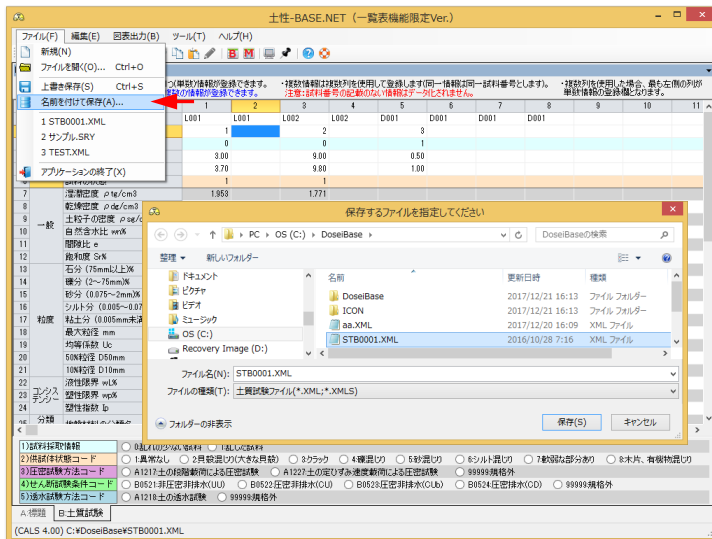
4.3. 上書き保存

CAL55 形式を指定した場合は[上書き保存]によりデータ更新が可能です。新規、あるいはそれ以外を指定した場合は、一度[名前を付けて保存]により CAL5 形式ファイルを確認させる必要があります。



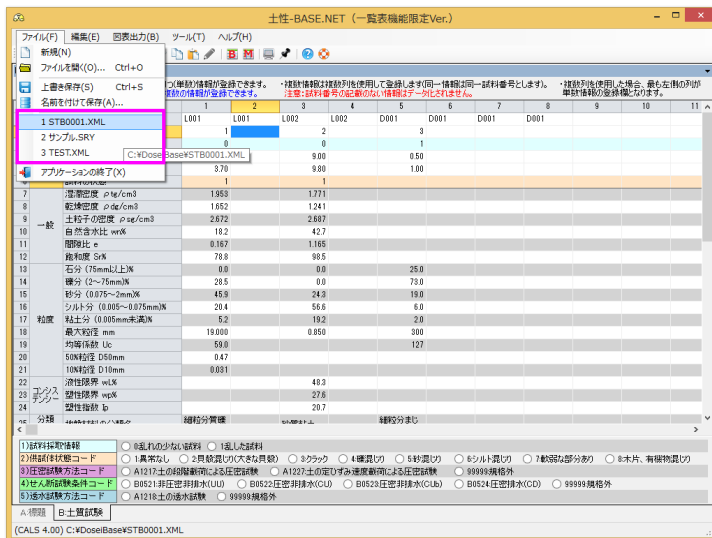
4.4. 名前を付けて保存

入力中のデータをファイルとして保存します。
 ファイル保存用ダイアログが表示されるため、
 保存先フォルダとファイル名を指定します
 (CALSS 形式ファイルとして保存します)。




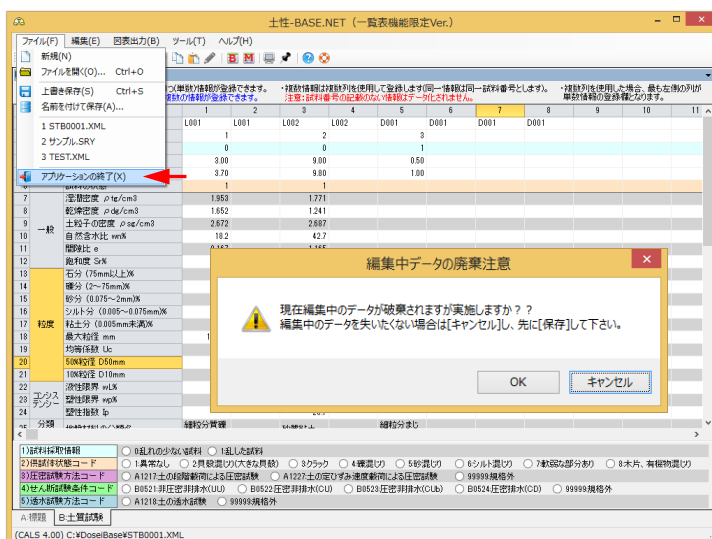
4.5. ファイルリスト 1~5

既存ファイルの再選択のため、直近で利用した
 ファイルを5つまでリストアップします。
 当該ファイルをクリックすることで、簡単に既
 存データの再入力編集ができます。



4.6. アプリケーションの終了

土性-BASE.NET を終了します。
 アプリケーションコントロールでの[閉じる]
 操作や、メインウィンドウ右上の[閉じる]ボタ
 ン()をクリックも同一操作となります。
 編集中データがファイル保存されていない(保
 存後に再編集された)場合は破棄注意メッセ
 ージが表示されますので、編集中データを失いた
 くない場合は[キャンセル]を、問題ない場合は
 [OK]をクリックします。



5. データ入力

各入力項目は、様式毎に自由にレイアウト可能なタブ上に整理されています。入力に必要となるタブをクリックし、各入力項目にデータをキー入力します。

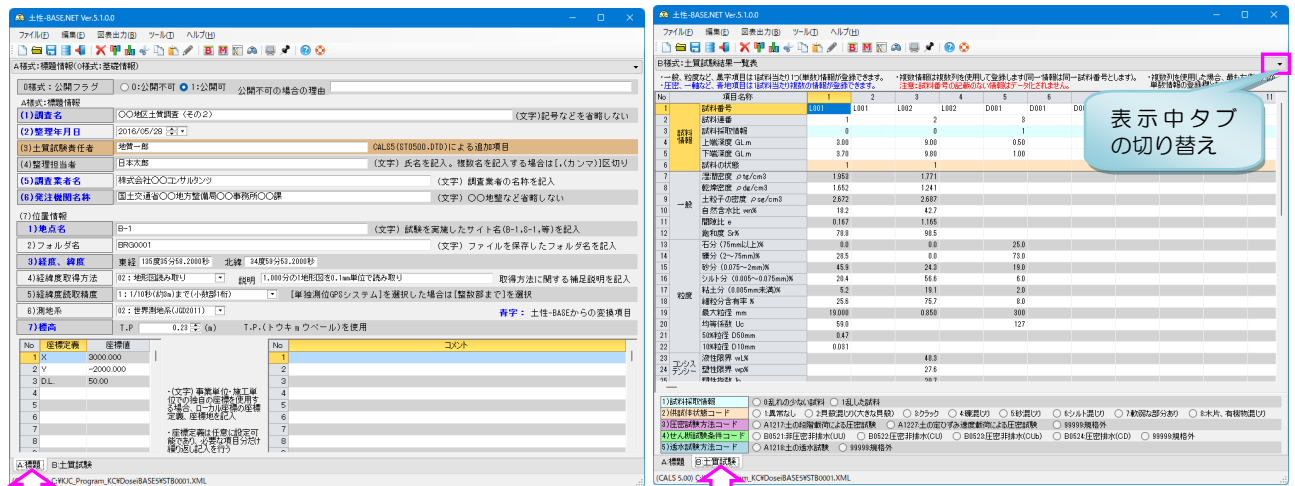
5.1. タブ（様式）の切り替え

[A:標題]、[B:土質試験]の2つのタブから構成されておりタイトルが画面下部に表示されています。

この**タブタイトルをクリック**することでタブを切り替えることが可能です。

切り替わったタブが前面に表示され、入力内容の確認あるいはデータ入力が可能となります。

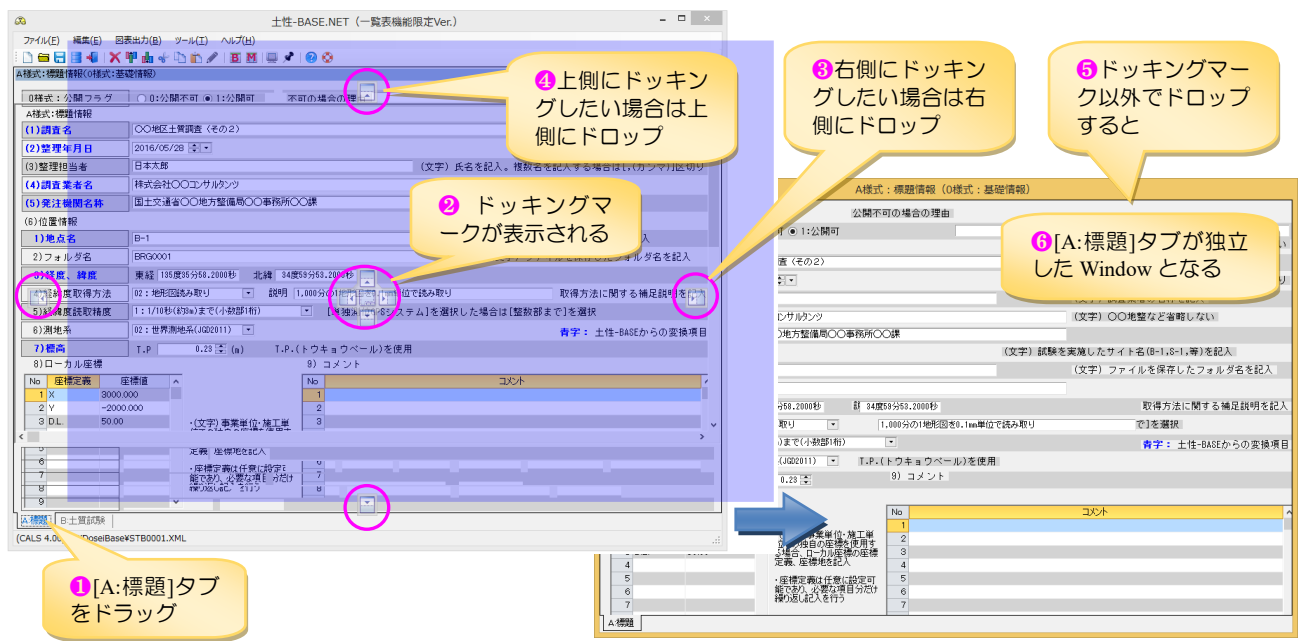
この、前面に表示され入力可能なタブをアクティブなタブ（それ以外のタブを非アクティブなタブ）と称します。画面右上の(▼)からも切り替えられます。



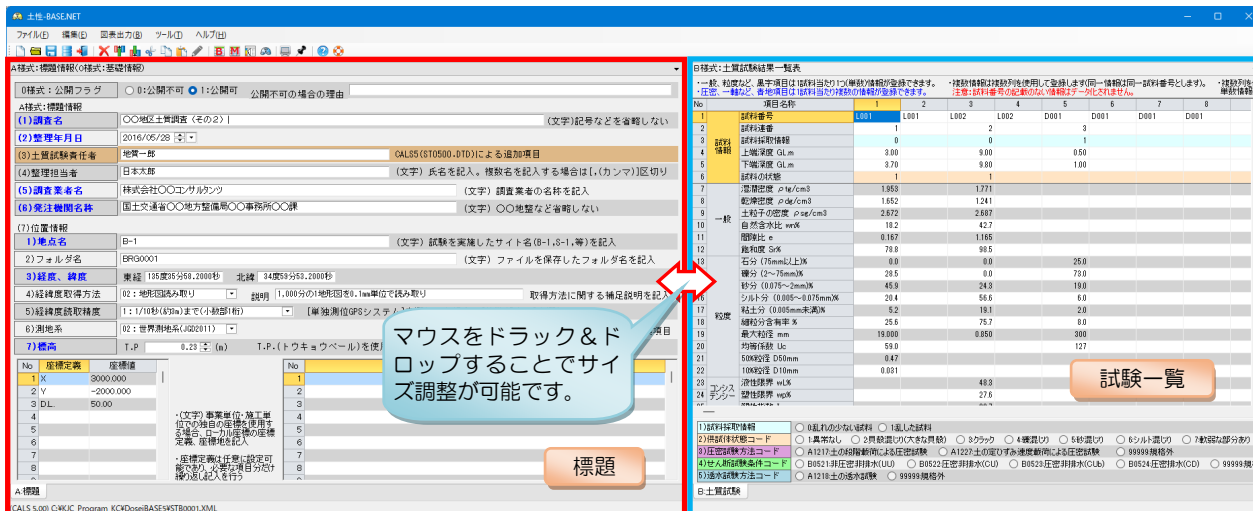
5.2. タブのレイアウト

自由にタブをレイアウトし関連情報を一覧にて視認することで、効率的なデータ入力を行えるよう機能実装されています。

- ① レイアウトしたいタブタイトルをドラッグします。
- ② ドッキングマークが表示されるため、配置したいドッキングマーク上でドロップします。
- ③ そのまま Window 外までドラッグ&ドロップすることで、タブを独立した Window とすることも可能です。独立した Window とした場合は、タブタイトルではなく Window タイトルをドラッグ&ドロップします。



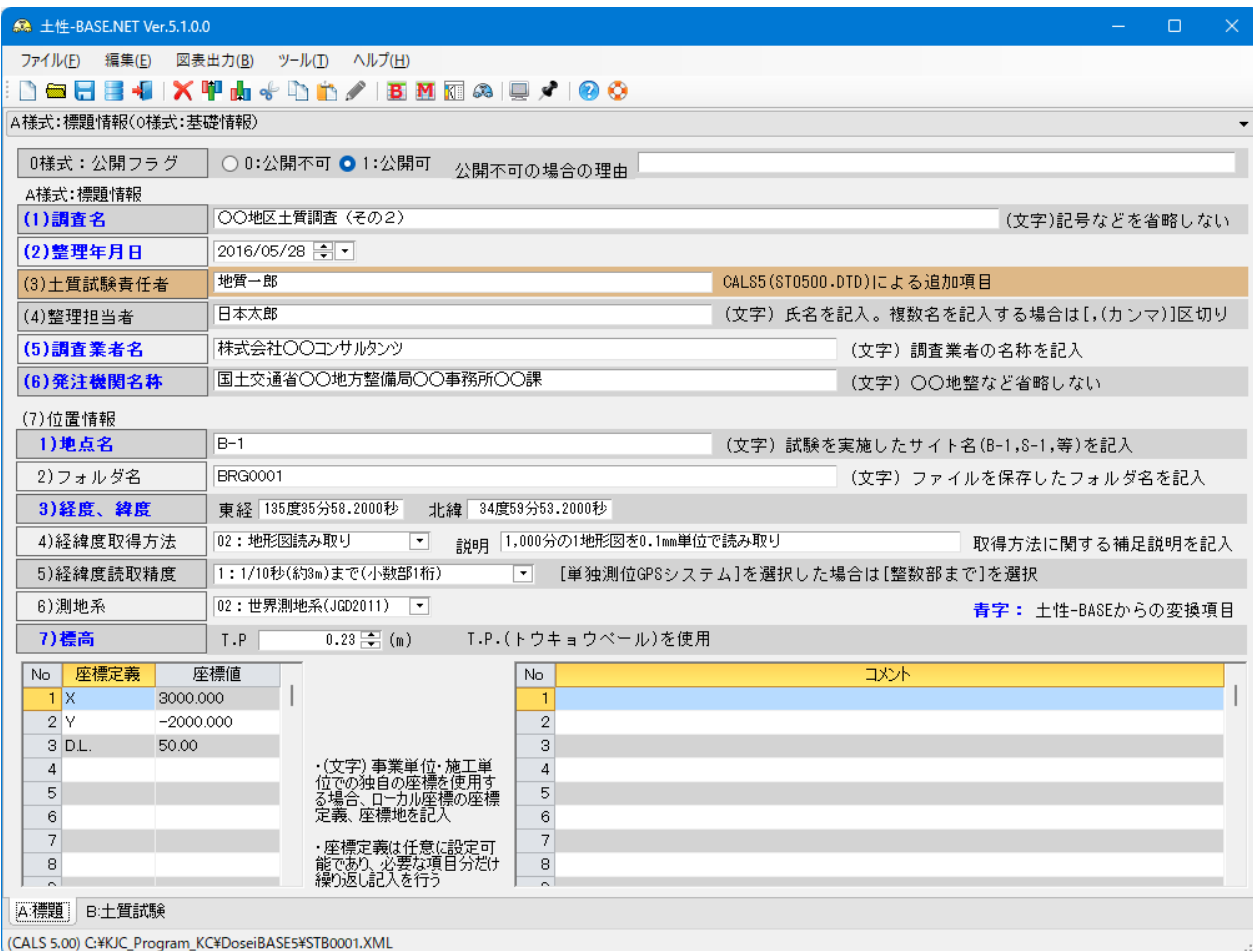
[A:標題]、[B:土質試験]を並べて入力することができます。



5.3.A 様式 (0 様式) の入力

「地質・土質成果電子納品要領 (令和 8 年 2 月)」の「付属資料 6 土質試験結果一覧表データ」に従い、0 様式および A 様式データを入力します。

青字で示されている項目は土性-BASE (SRY) から変換可能な項目です。



5.4.B 様式の入力

「地質・土質成果電子納品要領（平成 28 年 10 月）」の「付属資料 6 土質試験結果一覧表データ」に従い、B 様式データを入力します。

- ① 一般、粒度など、黒字項目は 1 試料当たり 1 つ（単数）の情報が登録できます。
- ② 圧密、一軸など、青字項目は 1 試料当たり複数の情報が登録できます。
- ③ 複数情報は複数列を使用して登録します（試料番号が同じ情報は同一試料として扱います）。

⚠ 試料番号の入力のない情報はデータ化（ファイル保存）されません。

- ④ 複数列を使用した場合、最も左側の列が単数情報の登録欄となります。

最大 1000 列まで入力可能です。

セルの境界をドラッグ & ドロップすることで、セルサイズを変更可能です。

土性-BASE.NET Ver.5.10.0

ファイル(F) 編集(E) 図表出力(B) ツール(T) ヘルプ(H)

目様式: 土質試験結果一覧表

・一般、粒度など、黒字項目は 1 試料当たり 1 つ(単数)の情報が登録できます。 ・複数情報は複数列を使用して登録します(同一情報は同一試料番号とします)。 ・複数列を使用した場合、最も左側の列が単数情報の登録欄となります。
 ・圧密、一軸など、青字項目は 1 試料当たり複数の情報が登録できます。 **注意: 試料番号の記載のない情報はデータ化されません。**

No	項目名称	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
1	試料番号	L001	L001	L002	L002	D001	D001	D001	D001			
2	試料連番		1		2		3					
3	試料採取情報		0		0		1					
4	上端深度 GL.m		3.00		9.00		0.50					
5	下端深度 GL.m		3.70		9.80		1.00					
6	試料の状態		1		1							
7	湿潤密度 ρ _{te} /cm ³		1.953		1.771							
8	乾燥密度 ρ _{dg} /cm ³		1.652		1.241							
9	土粒子の密度 ρ _{sg} /cm ³		2.672		2.687							
10	自然含水比 w _n %		18.2		42.7							
11	間隙比 e		0.167		1.165							
12	飽和度 S _r %		78.8		98.5							
13	石分 (75mm以上)%		0.0		0.0		25.0					
14	礫分 (2~75mm)%		28.5		0.0		73.0					
15	砂分 (0.075~2mm)%		45.9		24.3		19.0					
16	シルト分 (0.005~0.075mm)%		20.4		56.6		6.0					
17	粘土分 (0.005mm未満)%		5.2		19.1		2.0					
18	細粒分含有率 %		25.6		75.7		8.0					
19	最大粒径 mm		19.000		0.850		300					
20	均等係数 U _c		59.0				127					
21	50%粒径 D ₅₀ mm		0.47									
22	10%粒径 D ₁₀ mm		0.031									
23	液性限界 w _L %				48.8							
24	塑性限界 w _p %				27.6							
25	塑性指数 I _p				20.7							
26	地盤材料の分類名	細粒分質礫質砂		砂質粘土		細粒分まじり砂質礫						
27	分類記号	SFG		CLS		GS-F						
28	圧密試験方法コード			A1217	A1217							
29	圧密試験方法											
30	圧縮指数 C _c			0.395	0.595							
31	圧密降伏応力 p _c kN/m ²			110	152							
32	体積圧縮係数 C _v m ² /kN											
33	圧密係数 m _v cm ² /d											
34	圧力範囲											
35	一軸圧縮強さ q _u kN/m ²			75.2	71.0							
36	破壊ひずみ ε _f %			3.2	3.6							
37	せん断試験条件コード	B0524	B0521	B0521								
38	せん断試験条件											
39	せん断強さ(全応力) c kN/m ²	36.9	51.3	40.2								
40	せん断抵抗角(全応力) φ 度	37.4	1.5	5.40								
41	せん断強さ(有効応力) c' kN/m ²											
42	せん断抵抗角(有効応力) φ' 度											
43	締固め係数											
44	最大乾燥密度 ρ _{dmax} g/cm ³					1.950						
45	最適含水比 w _{opt} %					20.5						
46	CBR試験方法					締固め土						
47	CBR試験突固め回数 回/層					92	42	17				
48	膨張比 re					-0.14	-0.14	-0.02				

セルの境界でダブルクリックすることで、セル高さを最適化します。

試料番号が同じ情報は同一試料として扱います。

複数列を使用した場合、最も左側の列が単数情報の登録欄となります。

セル (項)

カレントセル

セル範囲 (選択中のセル)

複数情報は複数列を使用して登録します。

入力補助

1) 試料採取情報 ○ 0 乱れの少ない試料 ○ 1 乱した試料
 2) 供試体状態コード ○ 1 異常なし ○ 2 貝殻混じり(大きな貝殻) ○ 3 クラック ○ 4 礫混じり ○ 5 砂混じり ○ 6 シルト混じり ○ 7 軟弱な部分あり ○ 8 木片、有機物混じり
 3) 圧密試験方法コード ○ A1217: 土の段階載荷による圧密試験 ○ A1227: 土の定ひずみ速度載荷による圧密試験 ○ 99999: 規格外
 4) せん断試験条件コード ○ B0521: 非圧密非排水(UU) ○ B0522: 圧密非排水(CU) ○ B0523: 圧密非排水(CUb) ○ B0524: 圧密排水(CD) ○ 99999: 規格外
 5) 透水試験方法コード ○ A1218: 土の透水試験 ○ 99999: 規格外

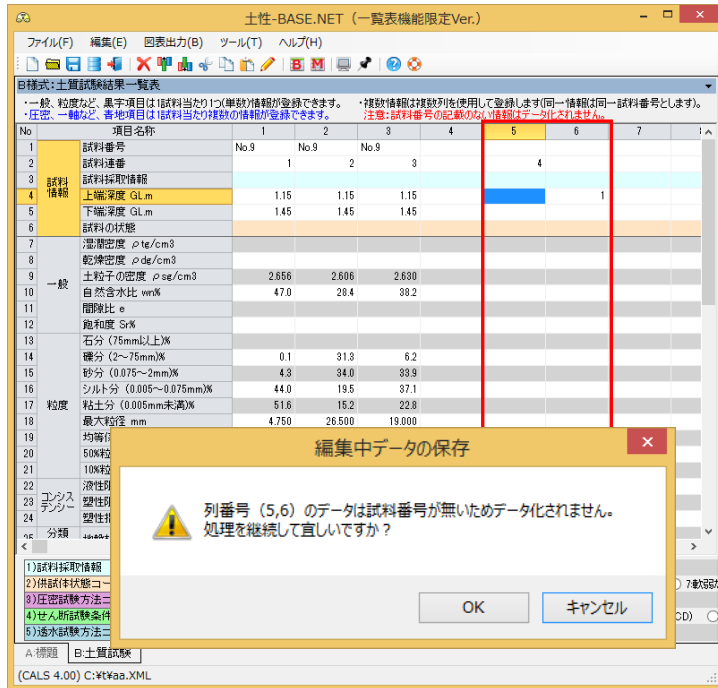
A: 標題 B: 土質試験

(CAL5.00) C:\KJC_Program_KC\Dosei\BASE5\STB0001.XML

5.4.1. 試料番号の記載のない情報

前頁にて「試料番号の記載のない情報はデータ化（ファイル保存）されません」と説明しました。

- ① ファイル保存あるいは一覧表作図処理において、試料番号に入力がなく、かつそれ以外の項目に何らかの入力がある場合は、[編集中データの保存]確認メッセージを表示します。
 - ② このまま処理を続ける場合は[OK]、データ修正を行う場合は[キャンセル]をクリックします。
- ⚠ 右図の場合、列番号 4 は試料番号に入力はありますが、それ以外の項目にも入力が無いため無視されています。



5.4.2. 同一試料の判定

前頁にて「試料番号が同じ情報は同一試料として扱います」と説明しましたが、もう少し詳細な理解が必要です。

「同一試料は同一試料番号」は大原則ですが、右図に示すように、試料番号は統一（実際にはボーリング番号など）し、上端深度・下端深度により試料を分ける入力をしているデータが（特に古いデータに）多く見られます。

このような入力パターンの場合は「同一試料は同一試料番号」ではありません。

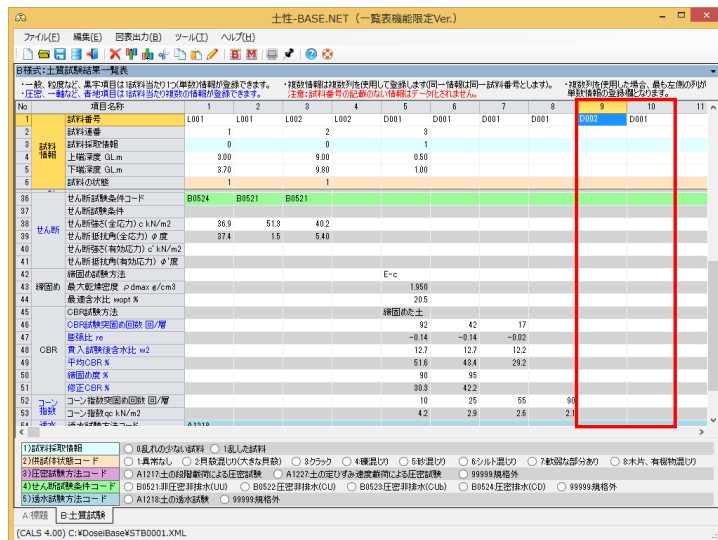
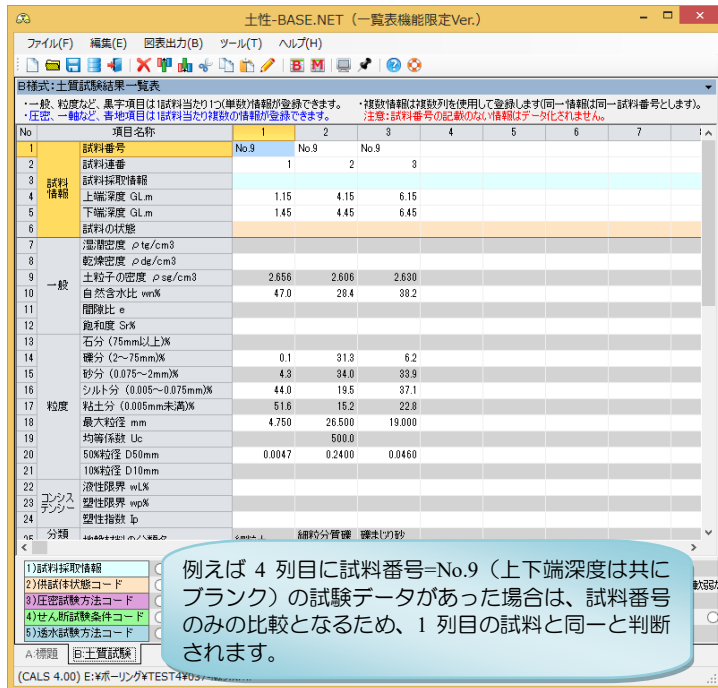
よって土性-BASE.NET では以下の処理で同一試料判定を行います。

- ① 上端深度あるいは（or）下端深度が入力されている場合は、試料番号・上端深度・下端深度の全てが一致する場合に同一試料とします。
- ② 上端深度かつ（and）下端深度が入力されていない場合は、試料番号が一致する場合に同一試料とします。

例えば右図の場合は、9 および 10 列目は試料番号のみ記載されています。

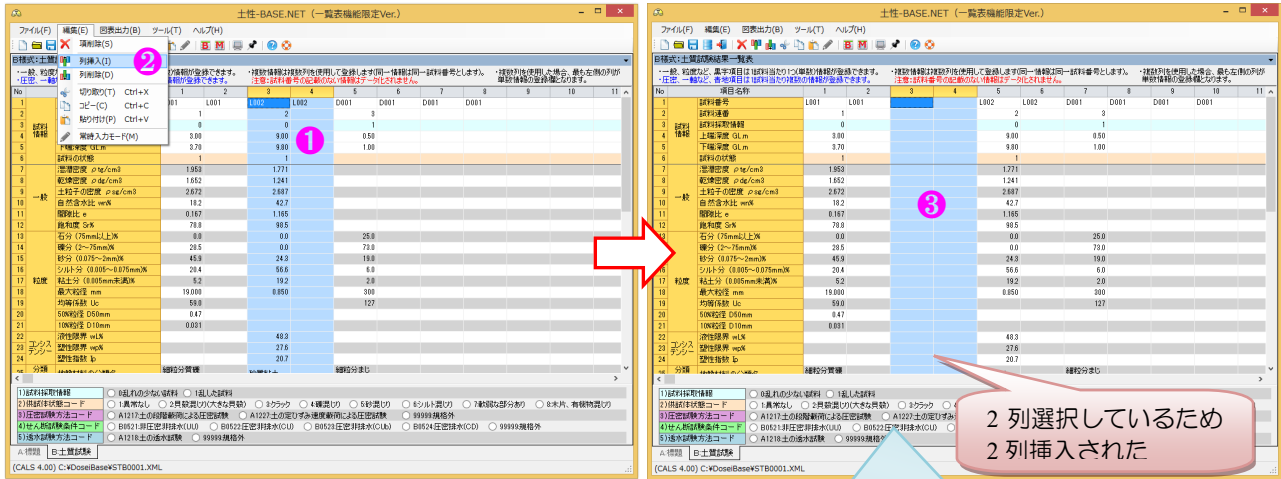
9 列目の D002 は試料番号のみの比較となり、同一試料が存在しないため、試料番号のみの情報としてデータ化されます。

10 列目の D001 は試料番号のみの比較となり、5（～8）列目と同一試料とみなされますが、それ以外のデータが無い場合、試料番号のみの情報としてデータ化されません。



5.4.6. 列挿入

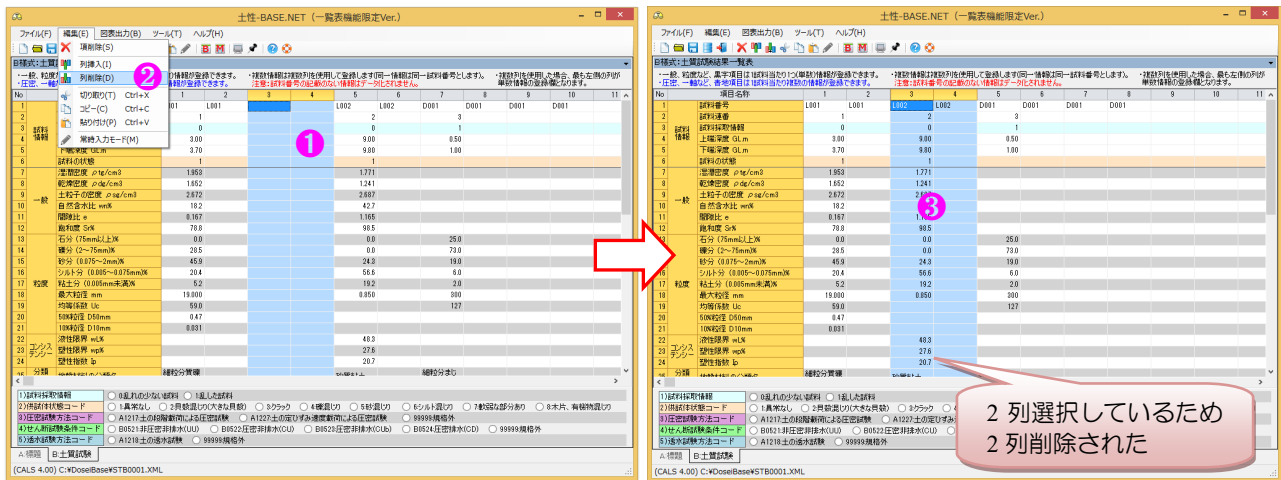
- ① 列挿入位置の列（あるいはセル）を挿入列分だけ選択します。
→列選択： No 欄で範囲選択すると列選択となります。
- ② [編集]-[列挿入]をクリック（ツールバー及びコンテキストメニューからも操作可能）します。
- ③ 選択された範囲行の上に（範囲列分の）列を挿入します。



5.4.7. 列削除

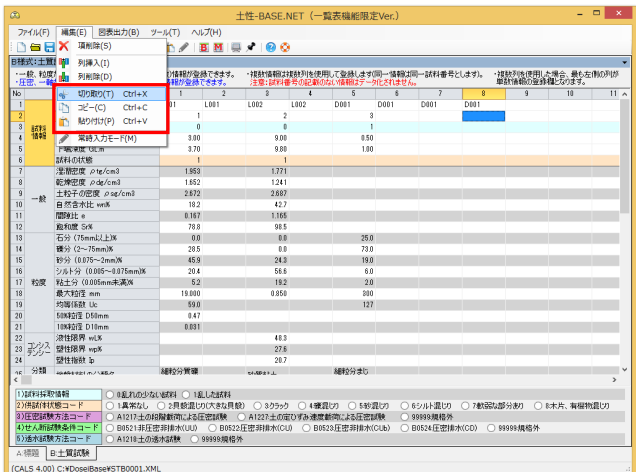
- ① 列削除したい範囲の列を選択します。
→列選択： No 欄で範囲選択すると列選択となります。
- ② [編集]-[列削除]をクリック（ツールバー及びコンテキストメニューからも操作可能）します。
- ③ 選択された範囲列を削除します。

最大 1000 列まで入力可能であり、それを越えたデータは消去されます。



5.4.8. 切り取り・コピー・貼り付け

- ① 切り取り：選択中セルの入力データを削除し、切り取った（削除した）データをクリップボードにコピーします。項削除と同一操作となります。
- ② コピー：選択されたセルのデータをクリップボードにコピーします。
- ③ 貼り付け：選択されたセルに、クリップボードにコピーしたデータを貼り付けます。

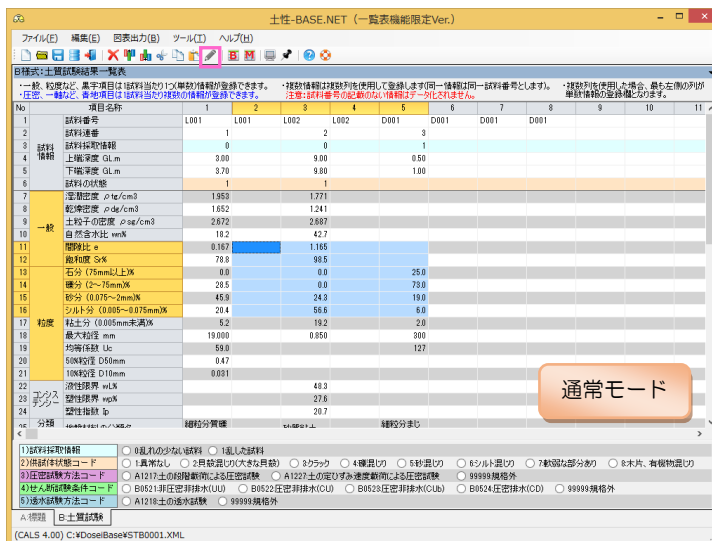


5.4.9. 一覧表の2つのモード

土質試験結果一覧表は、以下に示す2つのモードを持っており、ユーザが入力状況に応じて切り替えて利用することができます。

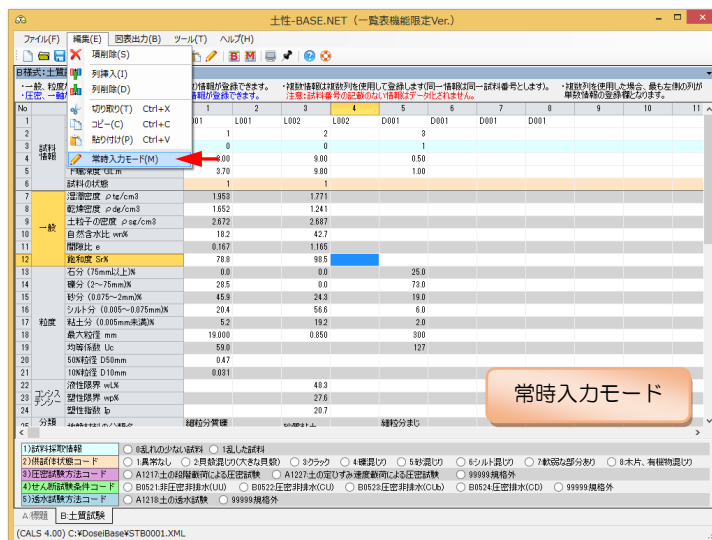
(1) 通常モード

- ① MS Excel と（ほぼ）同様の動作モードとなります。
- ② マウスクリック・矢印キー等によりセル範囲を選択し、選択したセルに対して編集指定を行っていきます。
- ③ また、キー入力を行う事でカレントセルが入力モードに自動的に遷移します。
- ④ セル編集とセル入力が自動的に切り替わるため、通常の入力作業時には本モードを選択します。
- ⑤ [常時入力モード]がOFFの状態が[通常モード]です。



(2) 常時入力モード

- ① キーパンチャなどがデータのキー入力を一括して実施する場合に選択します。
- ② セル選択により当該セルが入力モードとなります。
- ③ 編集モードに移行しない分、キー入力処理には効率的ですが、複数セルへの編集操作はできません。
- ④ [編集]-[常時入力モード]クリックにより通常⇄常時入力が切り替わります。

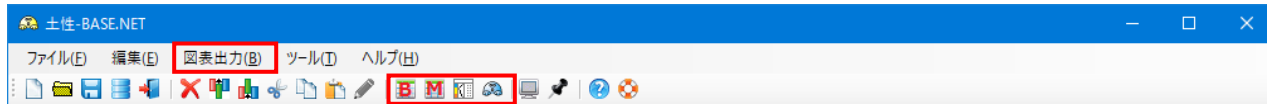


Memo



6. 図表出力

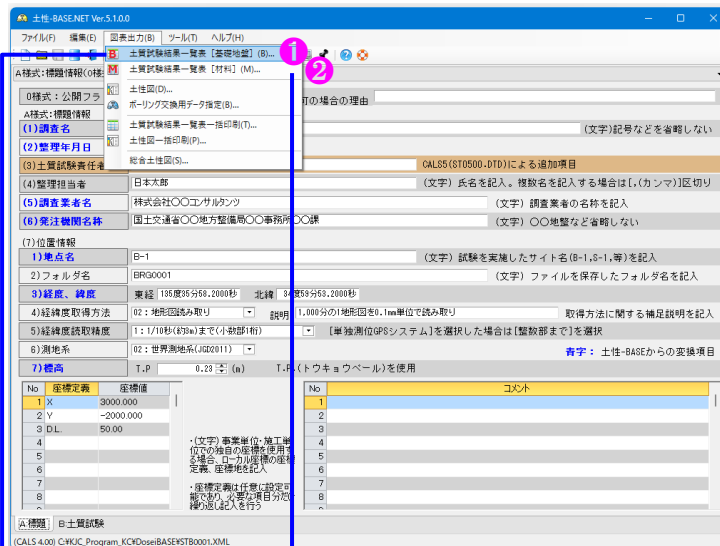
本章では図表出力機能：土質試験結果一覧表（基礎地盤・材料）および土性図の出力方法について説明します。地盤工学会が定める「データシート 4161：土質試験結果一覧表（基礎地盤）」、「データシート 4162：土質試験結果一覧表（材料）」「データシート 6163：土性図」に相当します。土質試験結果一覧表を PDF 形式で印刷することで電子土質試験結果一覧表となります。



6.1. 土質試験結果一覧表

6.1.1. 土質試験結果一覧表出力

- ① 土質試験結果一覧表（基礎地盤）を出力する場合は、[図表出力]-[土質試験結果一覧表 [基礎地盤]] をクリックします。
- ② 土質試験結果一覧表（材料）を出力する場合は、[図表出力]-[土質試験結果一覧表 [材料]] をクリックします。
- ③ 土質試験 VIEW（別アプリケーション）が起動し、指定された土質試験結果一覧表を表示します。



土質試験結果一覧表 (基礎地盤)		1/1	
調査件名 ○○地区土質調査 (その2) 整理年月日 2018-05-28			
整理担当者 日本本部			
試料番号 (深さ)	L001 (0.00m ~ 0.70m)	L002 (0.70m ~ 0.80m)	D001 (0.20m ~ 1.00m)
一			
液性限界 w_L [%]	1,489	1,771	1,858
塑性限界 w_p [%]	1,452	1,241	1,771
土粒子の割合 w_{20} [%]	2,472	2,497	2,497
液性指数 LI [%]	18.2	42.7	18.2
総 縮 率 ρ_s [%]	0.187	1.185	0.187
縮 率 ρ_w [%]	78.8	88.5	78.8
圧 縮 係数 C_c [%]	0.0	0.0	85.0
縮 率 ρ_w (0.005-200) [%]	45.3	24.3	18.0
縮 率 ρ_w (0.005-500) [%]	20.4	66.8	6.0
結 核 率 ρ_{cl} (0.005-500) [%]	5.2	18.2	2.0
最大粒径 d_{max} [mm]	19,000	0,850	800
均等粒径 d_{50} [mm]	59.0		127
0.75mm 粒径 d_{75} [mm]	0.497		0.497
0.075mm 粒径 d_{75} [mm]	0.091		0.091
液性限界 w_L [%]		49.3	
塑性限界 w_p [%]		27.8	
液性指数 LI [%]		20.7	
地盤材料の分類	細粒分質調整砂	調整粘土	細粒分質調整砂
分類記号	SPG	CS	SPG
試験方法	調整砂/調整砂		調整砂/調整砂
圧縮係数 C_c	0.385/0.535		110/152
圧縮率 ρ_w [%]			
一軸圧縮強さ q_u [kN/m ²]		75.2/71.0	
粘 着 力 c [%]		3.2/3.6	
試験条件	CU/UU	UU	
せん断応力 σ_1 [kN/m ²]	38.3/91.3	40.2	
せん断応力 σ_2 [kN/m ²]	27.2/1.5	6.40	
断面			
連水調整方法	土の連水調整		
連水係数 w [%]	1,502-06		
調整比 ρ_w [%]	0.8		
特記事項	1) 百分を越えた75mm未満の土質材料に対する百分率で表す。 [1kN/m ² = 0.012kgf/cm ²]		

土質試験結果一覧表(基礎地盤)

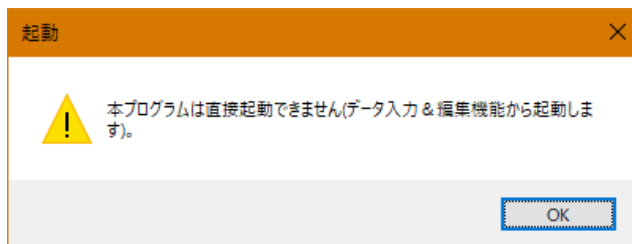
土質試験結果一覧表 (材料)		1/1	
調査件名 ○○地区土質調査 (その2) 整理年月日 2018-05-28			
整理担当者 日本本部			
試料番号 (深さ)	L001 (0.00m ~ 0.70m)	L002 (0.70m ~ 0.80m)	D001 (0.20m ~ 1.00m)
一			
液性限界 w_L [%]	1,489	1,771	1,858
塑性限界 w_p [%]	1,452	1,241	1,771
土粒子の割合 w_{20} [%]	2,472	2,497	2,497
液性指数 LI [%]	18.2	42.7	18.2
総 縮 率 ρ_s [%]	0.187	1.185	0.187
縮 率 ρ_w [%]	78.8	88.5	78.8
圧 縮 係数 C_c [%]	0.0	0.0	85.0
縮 率 ρ_w (0.005-200) [%]	45.3	24.3	18.0
縮 率 ρ_w (0.005-500) [%]	20.4	66.8	6.0
結 核 率 ρ_{cl} (0.005-500) [%]	5.2	18.2	2.0
最大粒径 d_{max} [mm]	19,000	0,850	800
均等粒径 d_{50} [mm]	59.0		127
0.75mm 粒径 d_{75} [mm]	0.497		0.497
0.075mm 粒径 d_{75} [mm]	0.091		0.091
液性限界 w_L [%]		49.3	
塑性限界 w_p [%]		27.8	
液性指数 LI [%]		20.7	
地盤材料の分類	細粒分質調整砂	調整粘土	細粒分質調整砂
分類記号	SPG	CS	SPG
試験方法			E-c
圧縮係数 C_c			1,050
圧縮率 ρ_w [%]			20.5
一軸圧縮強さ q_u [kN/m ²]			調整粘土
粘 着 力 c [%]			0.14
液性指数 LI [%]			0.02
圧縮係数 C_c [%]			12.7
圧縮率 ρ_w [%]			12.3
液性指数 LI [%]			61.6
液性指数 LI [%]			49.4
液性指数 LI [%]			29.2
液性指数 LI [%]			39.3
液性指数 LI [%]			42.6
液性指数 LI [%]			10
液性指数 LI [%]			56
液性指数 LI [%]			4.2
液性指数 LI [%]			2.6
液性指数 LI [%]			38
液性指数 LI [%]			2.3
液性指数 LI [%]			2.1
連水調整方法			土の連水調整
連水係数 w [%]			1,502-06
調整比 ρ_w [%]			0.8
特記事項	1) 百分を越えた75mm未満の土質材料に対する百分率で表す。 [1kN/m ² = 0.012kgf/cm ²]		

土質試験結果一覧表(材料)

また、土質試験 VIEW は単独での起動はできません。
必ず土性-BASE.NET 経由での利用となります。

以降、土質試験 VIEW の操作方法について説明します。

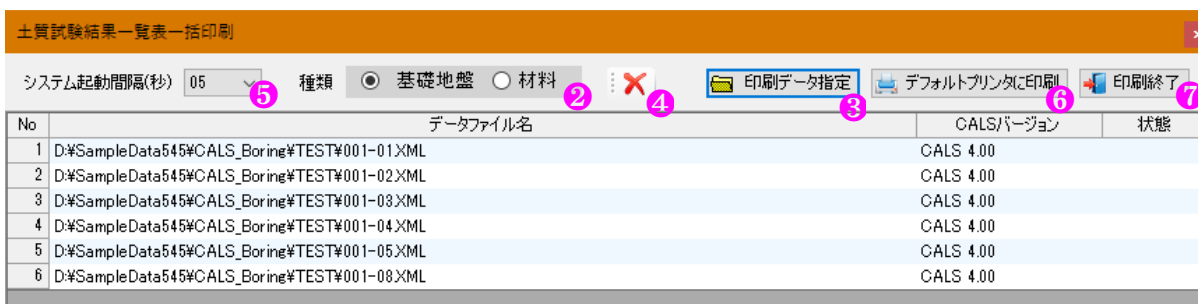
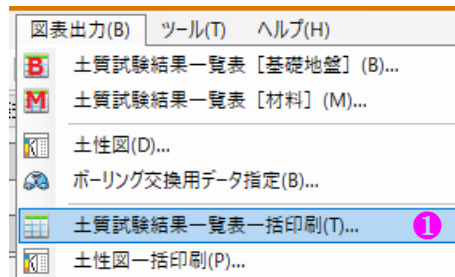
※ 土質試験 VIEW は Ver.2.1～新しい別アプリケーションに更新されました。



6.1.2. 土質試験結果一覧表一括印刷 (Ver.2.1~)

複数の土質試験結果一覧表データを指定し、一括にて印刷あるいは PDF ファイル作成を行います。

- ① [図表出力]-[土質試験結果一覧表一括印刷]をクリックします。
→[土質試験結果一覧表一括印刷]用ダイアログが表示されます。



(1) 土質試験結果一覧表種別の指定

- ② 土質試験結果一覧表（基礎地盤）を出力する場合は[基礎地盤]を、土質試験結果一覧表（材料）を出力する場合は[材料]をクリックします。

(2) 一括印刷用土質試験結果一覧表データの指定

- ③ [印刷データ指定]ボタンをクリックすると[ファイルを開く]ダイアログが表示されるため、一括印刷したい土質試験結果一覧表データを（複数）指定します。
 - 土質試験結果一覧表データ（Ver.4.00）形式のデータを指定できます。

(3) 土質試験結果一覧表データ指定の取り消し

- ④ 削除したいデータファイルを行選択し、 をクリックします。

(4) システム起動間隔の指定

プリンタ等のリソース占有を避けるため、「土質試験結果一覧表作成機能」の起動間隔を指定します。

- ⑤ システム起動間隔（秒）ドロップダウンリストから選択します。

(5) デフォルトプリンタに印刷

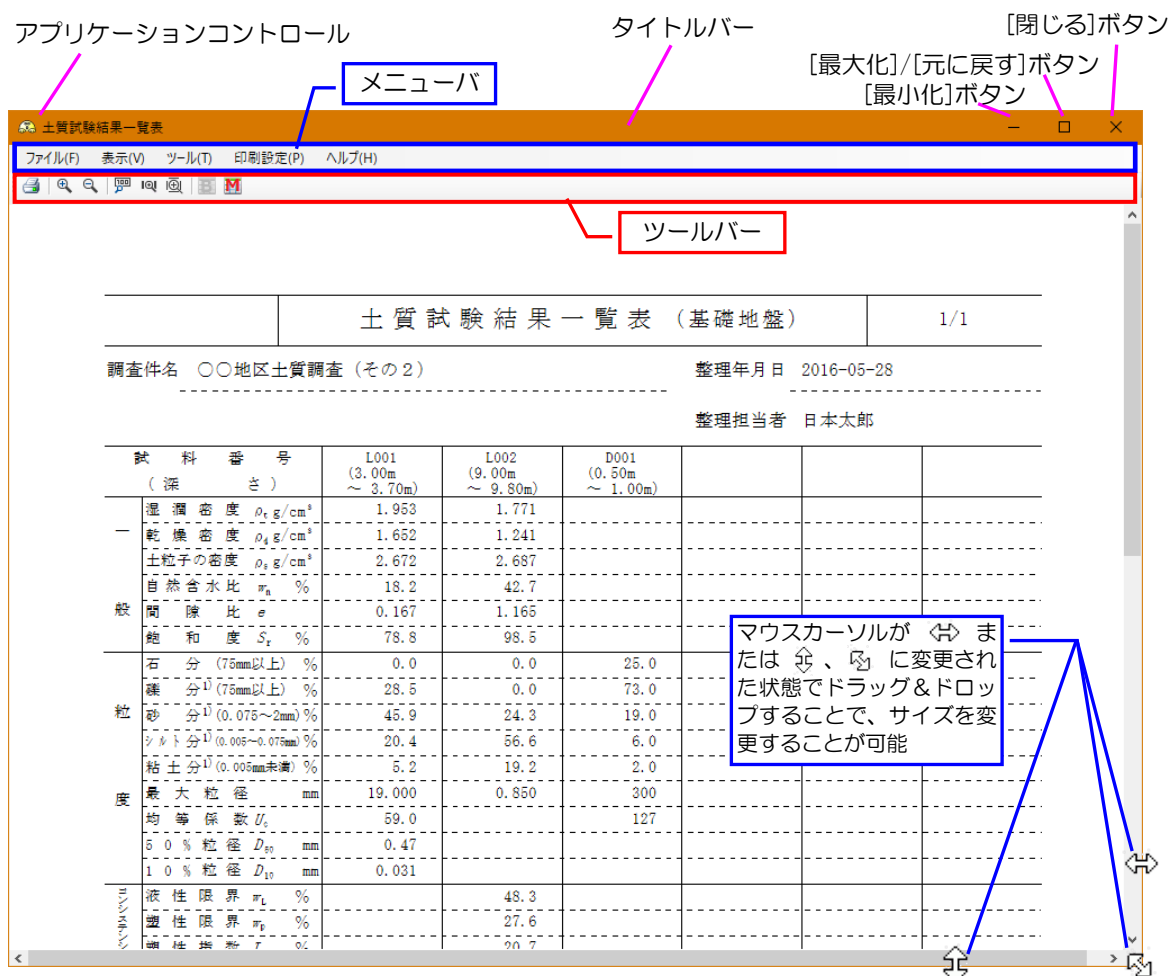
- ⑥ 土質試験一覧表データ指定後に[デフォルトプリンタに印刷]ボタンをクリックすると、システム起動間隔指定に従い「土質試験結果一覧表作成機能（土質試験 VIEW）」を起動します。
 - 「土質試験結果一覧表作成機能」を起動後、直ぐに印刷処理を実施し、「土質試験結果一覧表作成機能」は自動的に終了します。

(6) 一括印刷の中止および終了

- ⑦ [印刷終了]ボタンクリックにより一括印刷が終了します。
→ 終了確認用ダイアログが表示されるため[はい]をクリックします。

6.2. 土質試験 VIEW

[土質試験 VIEW]において作成した土質試験結果一覧表の表示確認および印刷を行います。
土質試験 VIEW は Ver.2.1~新しい別アプリケーションに更新されました。



6.2.1. ファイル

(1) 開く

① 一覧表を作成する土質試験結果一覧表データを選択することが可能です。

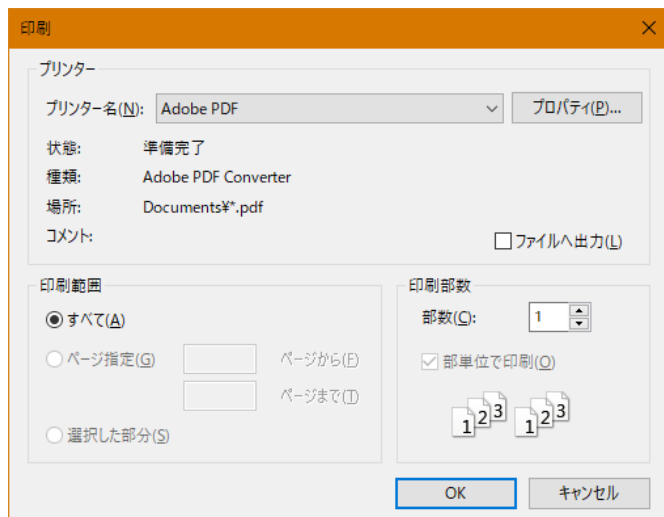
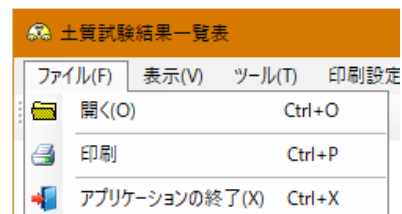
(2) 印刷

土質試験結果一覧表を印刷します。

- ① [ファイル]-[印刷]をクリックします (ツールバーからも操作可能)。
→印刷ダイアログが表示されます。
- ② プリント設定を行い[OK]をクリックします。

(3) アプリケーションの終了

[土質試験 VIEW]を終了します。



6.2.2. 表示

土質試験結果一覧表の画面表示関連の操作を行います。

(1) 拡大表示

- ① [表示]-[拡大表示]あるいはツールバーの をクリックする（[CTRL]キーと[+]キーとを同時に押す）と、土質試験結果一覧表を拡大表示します。Windows 内に表示しきれなくなるとスクロールバーが表示されるため、スクロールバーをドラッグ&ドロップして表示範囲を移動します。

(2) 縮小表示

- ② [表示]-[縮小表示]あるいはツールバーの をクリックする（[CTRL]キーと[-]キーとを同時に押す）と、土質試験結果一覧表を縮小表示します。

(3) 原寸（100%）表示

- ③ [表示]-[原寸（100%）表示]あるいはツールバーの をクリックする（[CTRL]キーと[1]キーとを同時に押す）と、土質試験結果一覧表を 100%表示します。

(4) 画面幅で表示

- ④ [表示]-[画面幅で表示]あるいはツールバーの をクリックする（[CTRL]キーと[2]キーとを同時に押す）と、土質試験結果一覧表幅を Window 幅として表示します。

(5) 画面全体を表示

- ⑤ [表示]-[画面全体を表示]あるいはツールバーの をクリックする（[CTRL]キーと[3]キーとを同時に押す）と、土質試験結果一覧表幅を Window 幅として表示します。



6.2.3. ツール

(1) シート（基礎）・（材料）

土質試験結果一覧表の種類（基礎地盤⇔材料）を切り替えます。

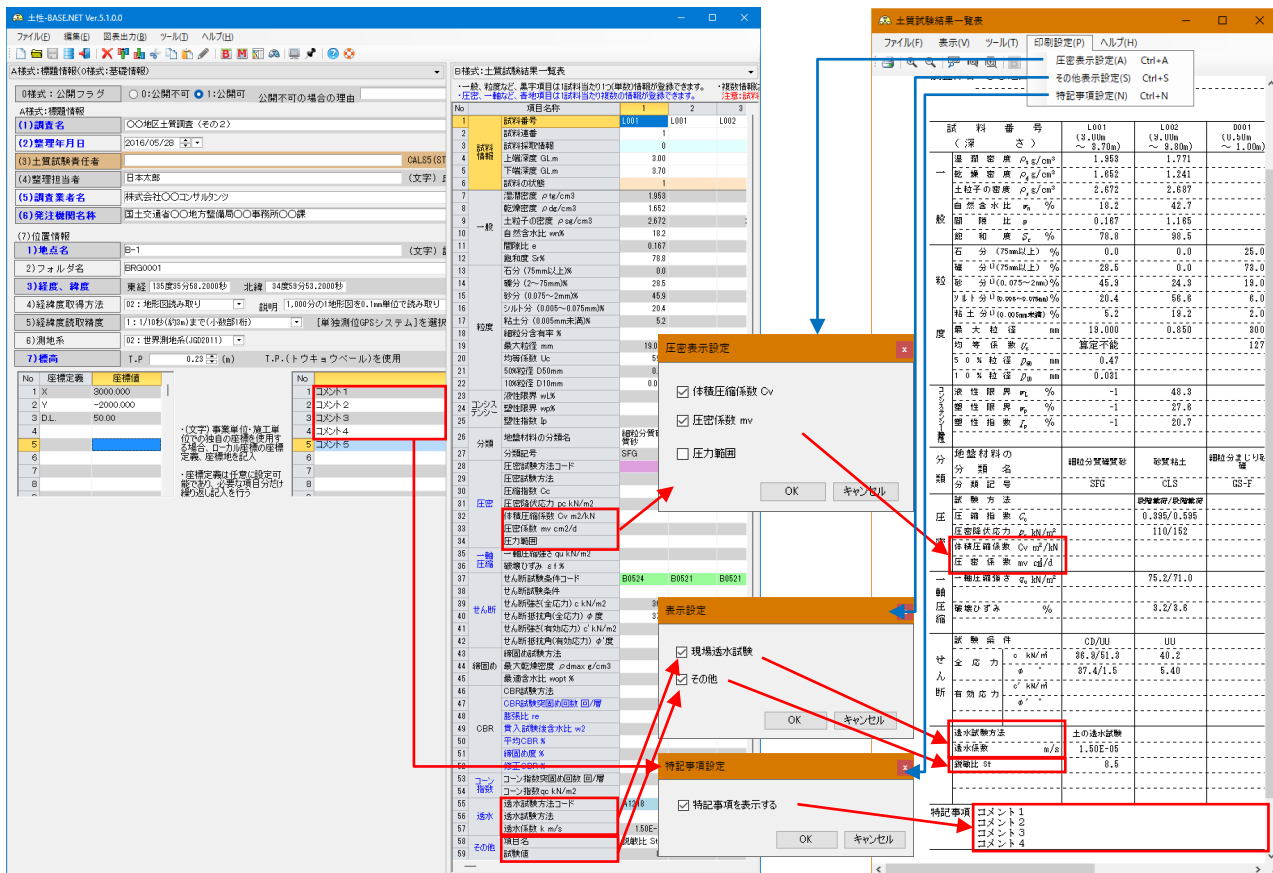
ツールバーからも操作可能です。



6.2.4. 印刷設定

一覧表における表示オプション設定に当たります。

- ① 圧密表示設定：圧密欄の空白 2 行に対し[体積圧縮指数 Cv][圧密係数mv][圧力範囲]を表示できます。
- ② その他表示設定：下部の空白行に対し[現場透水試験][その他]を表示できます。
- ③ 特記事項指定：特記事項欄に対し[コメント]（上位 4 行）を表示できます。



6.2.5. ヘルプ

(1) ヘルプの表示

- ① [ヘルプ]-[ヘルプの表示]をクリックにより、本書を表示します。

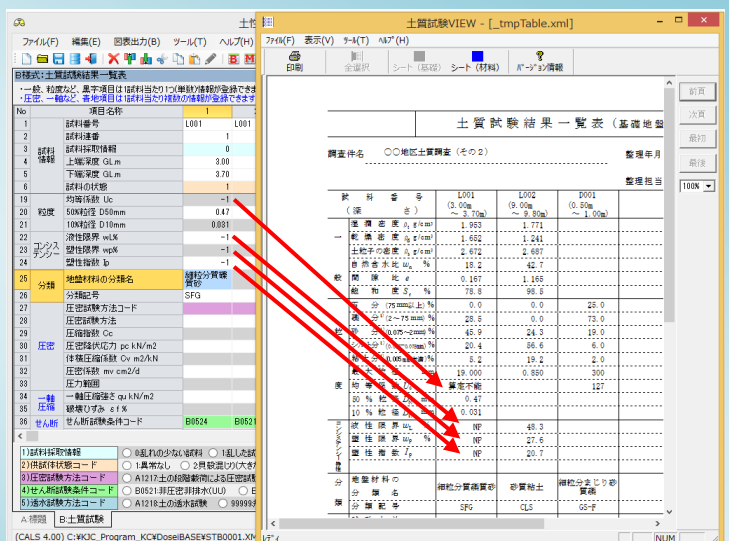
(2) バージョン情報

- ② [ヘルプ]-[バージョン情報]をクリックにより、[土性図 VIEW]のバージョン情報を表示します。

Ver.1.0.0.1~

一覧表表示において、それぞれ以下に表示置換されるよう改修しました。

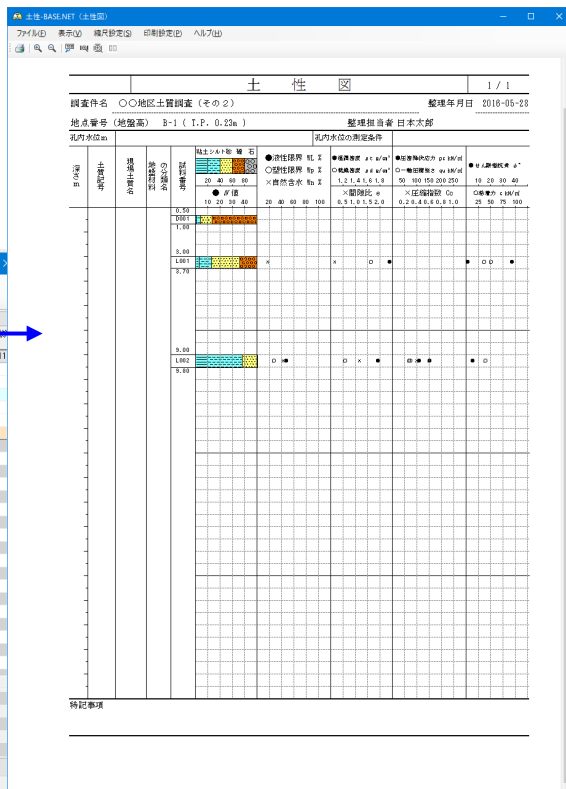
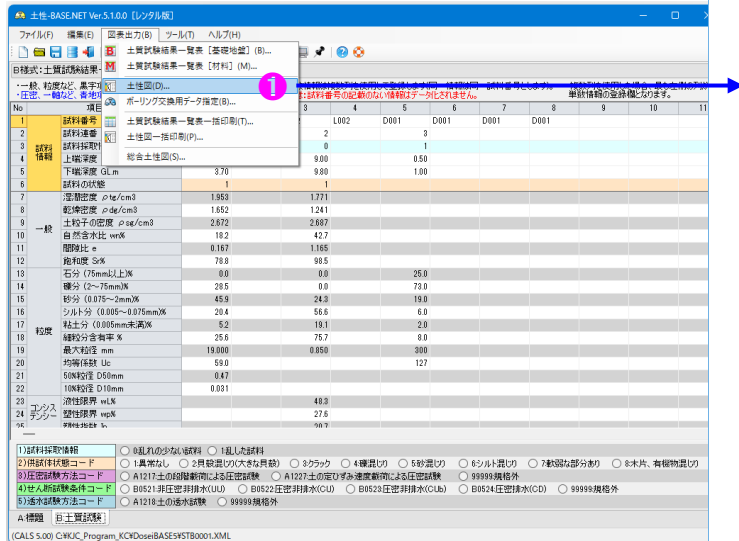
- 均等係数=-1 の場合、[算定不能]を表示
- 液性限界・塑性限界・塑性指数=-1 の場合、[NP]を表示



6.3. 土性図 (Ver.2~)

6.3.1. 土性図出力

- ① 土性図を出力する場合は、[図表出力]-[土性図]をクリックします。
- ② 土性図 VIEW (別アプリケーション) が起動し、指定された土性図を表示します。

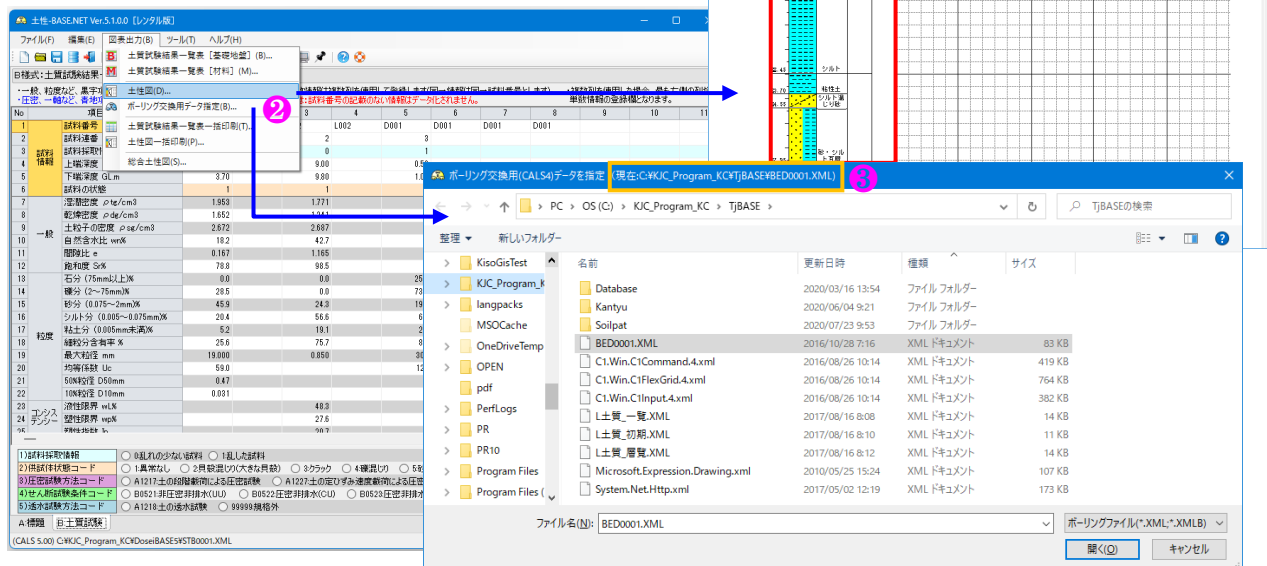


6.3.2. ボーリング交換用データ指定

土性図には土質試験情報だけではなく、対応するボーリング柱状図の情報も表示します (右図赤枠)。

ボーリング柱状図の情報を土性図に表示する場合は、前もって対応するボーリング交換用データ (CALSA4 形式) を指定する必要があります。

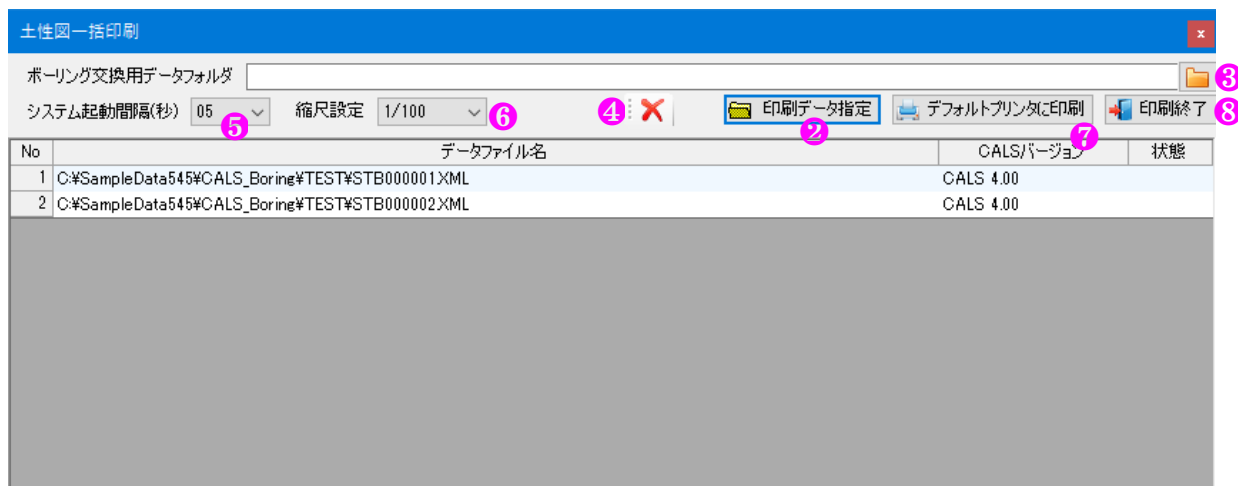
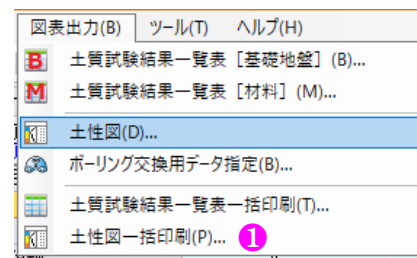
- ① ボーリング交換用データ (CALSA4 形式) を指定する場合は、[図表出力]-[ボーリング交換用データ指定]をクリックします。
- ② ファイル選択ダイアログが表示されるため、ボーリング交換用データ (CALSA4 形式) を指定します。
- ③ 指定済みのボーリング交換用データ (CALSA4 形式) のファイル名の確認も可能です。



6.3.3. 土性図一括印刷 (Ver.2.0.1~)

複数の土質試験結果一覧表データ（ボーリング交換用データ）を指定し、一括にて印刷あるいは PDF ファイル作成を行います。

- ① [図表出力]-[土性図一括印刷]をクリックします。
→[土性図一括印刷]用ダイアログが表示されます。



(1) 一括印刷用土質試験結果一覧表データの指定

- ② [印刷データ指定]ボタンをクリックすると[ファイルを開く]ダイアログが表示されるため、一括印刷したい土質試験結果一覧表データを（複数）指定します。
 - 土質試験結果一覧表データ（Ver.4.00）形式のデータを指定できます。

(2) ボーリング交換用データの指定

(1) で指定した土質試験結果一覧表データ対応したボーリング交換用データを指定します。指定はボーリング交換用データが登録されているフォルダを指定することで行います。

- ③ [ボーリング交換用データフォルダ]欄にボーリング交換用データが登録されているフォルダを入力します。
 クリックにより[フォルダの参照]ダイアログからの指定も可能です。
 - 土質試験結果一覧表データが CALIS 電子納品要領に従ったファイル名（STBNNNN.XML：STB で始まる）の場合は、指定された[ボーリング交換用データフォルダ]内の BEDNNNN.XML ファイルが検索されます。
 - 土質試験結果一覧表データが CALIS 電子納品要領に従わないファイル名（STB で始まらない）の場合は、指定された[ボーリング交換用データフォルダ]内の同一ファイルが検索されます。

(3) 土質試験結果一覧表データ指定の取り消し

- ④ 削除したいデータファイルを行選択し、 をクリックします。

(4) システム起動間隔の指定

プリンタ等のリソース占有を避けるため、「土性図作成機能」の起動間隔を指定します。

- ⑤ システム起動間隔（秒）ドロップダウンリストから選択します。

(5) 縮尺設定

- ⑥ [縮尺設定]-[1/000]をクリックして、土性図の縦縮尺を指定します。

(6) デフォルトプリンタに印刷

- ⑦ 土質試験一覧表データ指定後に[デフォルトプリンタに印刷]ボタンをクリックすると、システム起動間隔指定に従い「土性図作成機能（土性図 VIEW）」を起動します。
 - 「土性図作成機能」を起動後、直ぐに印刷処理を実施し、「土性図作成機能」は自動的に終了します。

(7) 一括印刷の中止および終了

- ⑧ [印刷終了]ボタンをクリックにより一括印刷が終了します。
→ 終了確認用ダイアログが表示されるため[はい]をクリックします。

6.4. 土性図 VIEW

[土性 VIEW]において作成した土性図の表示確認および印刷を行います。

アプリケーションコントロール タイトルバー [閉じる]ボタン

メニューバー [最大化]/[元に戻す]ボタン
[最小化]ボタン

ツールバー

調査件名 ○○地区土質調査 (その2) 整理年月日 2016-05-28

地点番号 (地盤高) B-1 (T.P. 0.23m) 整理担当者 日本太郎

孔内水位m 5.05 孔内水位の測定条件

試料番号	液性限界 W_L %	塑性限界 W_p %	自然含水 W_n %	● 液性限界 W_L %	○ 塑性限界 W_p %	× 自然含水 W_n %	● 透水性 a cm/cm ²			● 圧縮係数 c_v cm ² /min			● せん断係数 e				
							1.2	1.4	1.6	1.8	50	100	150	200	250	10	20
0.50																	
D001																	
1.00																	
3.00																	
L001																	
3.70																	
7.40																	
9.00																	
L002																	
9.80																	

マウスマーカーが または に変更された状態でドラッグ&ドロップすることで、サイズを変更することが可能

土性-BASE.NET (土性図)

調査件名 ○○地区土質調査 (その2) 整理年月日 2016-05-28

地点番号 (地盤高) B-1 (T.P. 0.23m) 整理担当者 日本太郎

孔内水位m 5.05 孔内水位の測定条件

柱状-BASE.NET において任意の PNG ファイルを使用して柱状図模様を拡張している場合は、柱状-BASE.NET インストールフォルダの下にある [Soilpad] フォルダを、土性-BASE.NET インストールフォルダの下にコピーします。

(4) 画面幅で表示

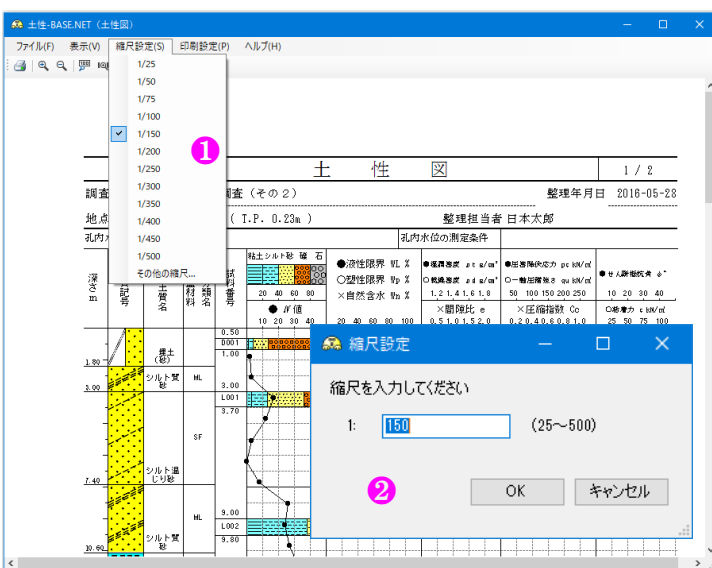
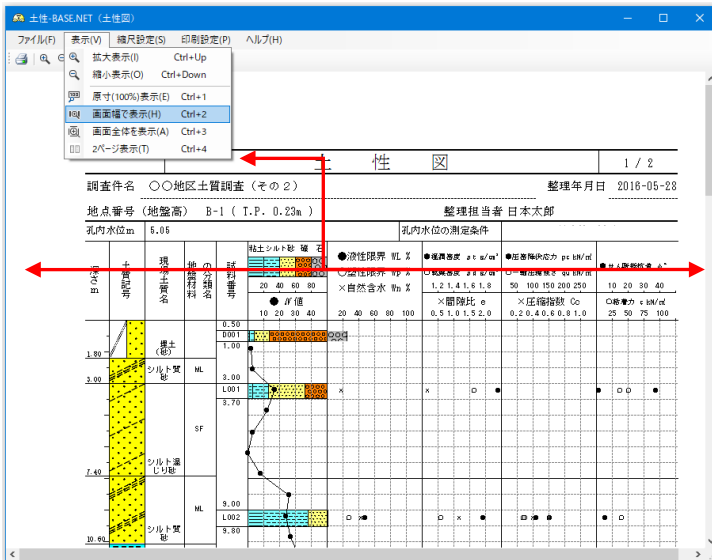
④ [表示]-[画面幅で表示]あるいはツールバーの をクリックする ([CTRL]キーと[2]キーとを同時に押す) と、土性図幅を Window 幅として表示します。

(5) 画面全体を表示

⑤ [表示]-[画面全体を表示]あるいはツールバーの をクリックする ([CTRL]キーと[3]キーとを同時に押す) と、土性図幅を Window 幅として表示します。

(6) 2 ページ表示

⑥ [表示]-[2 ページ表示]あるいはツールバーの をクリックする ([CTRL]キーと[4]キーとを同時に押す) と、土性図を 2 ページ (見開き) 表示します。



6.4.3. 縮尺設定

- ① [縮尺設定]-[1/000]をクリックして、土性図の縦縮尺を指定します。
- ② [縮尺設定]-[その他の縮尺]をクリックすると縮尺設定ダイアログが表示されるため、任意縮尺(10~1000)をキー入力して[OK]をクリックします。

6.4.4.印刷設定

土性図表示に関する詳細設定を行います。

(1) 目盛設定

各グラフの軸目盛りを設定します。

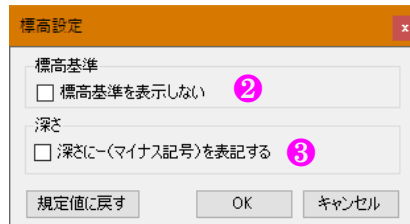
- ① [印刷設定]-[目盛り設定]をクリックすると、目盛設定ダイアログを表示します。
- ② 各軸目盛りの最小・最大値を入力し、[OK]をクリックします。
- ③ [規定値に戻す]をクリックによりシステムのデフォルト値に戻ります。



(2) 標高設定

① [印刷設定]-[標高設定]をクリックすると、標高設定ダイアログを表示します。

- ② [標高基準を表示しない]をチェックすると標高基準 (T.P.) を表示しません。
→T.P.以外の標高基準を使用している場合にチェックします。
- ③ [深さに-(マイナス記号)を表記する]をチェックすると[-深さ]となります。1.80 → -1.80



(3) 土質記号設定

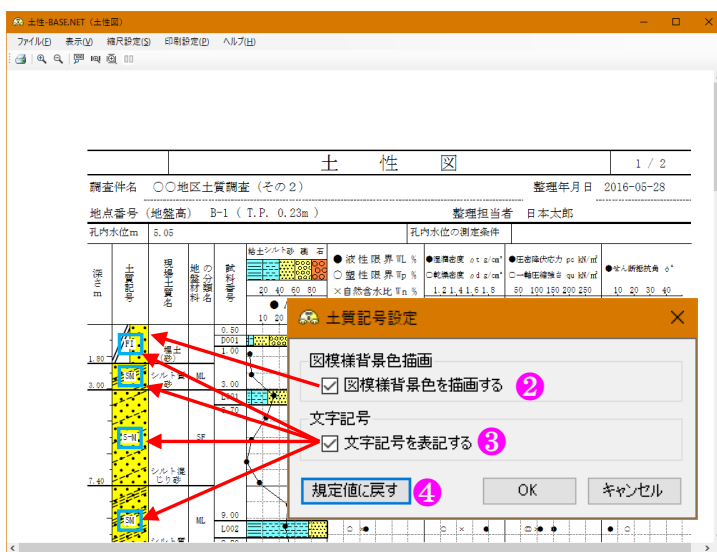
- ① [印刷設定]-[土質記号設定]をクリックすると、土質記号指定ダイアログを表示します。
- ② [図模様背景色を描画する]をチェックすると図模様背景色を描画します。
 - 土質名と背景色は柱状-BASE.NET で指定します。
 - 柱状-BASE.NET マニュアル「4.5.柱状図背景色設定」を参照して下さい。
- ③ [文字記号を表記する]をチェックすると文字記号を描画します。
- ④ [規定値に戻す]をクリックによりシステムのデフォルト値に戻ります。

図模様・背景色の設定

図模様および背景色は柱状-BASE.NET により行います。

柱状-BASE.NET マニュアルの以下項目を参照して下さい。

- 4.5.柱状図背景色設定
- 4.6.柱状図模様設定



(4) 粒度分布設定

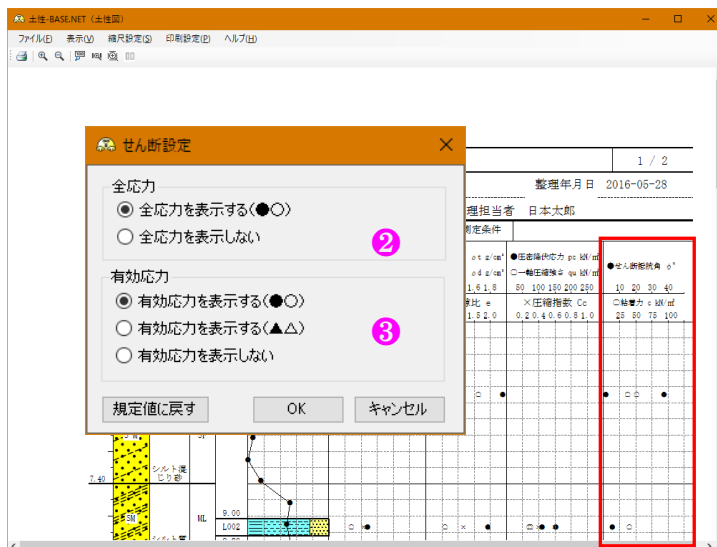
- ① [印刷設定]-[粒度分布設定]をクリックすると、粒度分布設定ダイアログを表示します。
- ② [図模様背景色を描画する]をチェックすると粒度分布を指定色で塗りつぶします。
- ③ [粘土][シルト][砂][礫][石]毎に塗りつぶし色を指定します。



(5) せん断設定

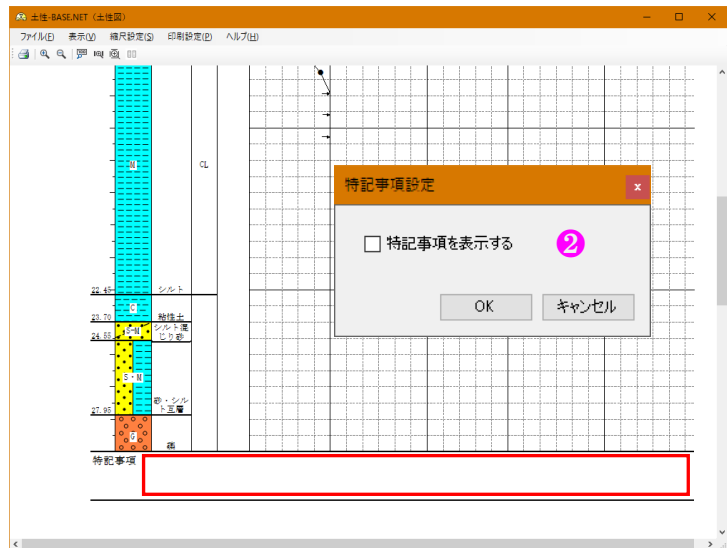
粘着力 (C)・せん断抵抗角 (Φ) の表示方法を規定します。

- ① [印刷設定]-[せん断設定]をクリックすると、せん断設定ダイアログを表示します。
- ② せん断試験・全応力の表示方法を指定
 - $\Phi = \bullet$ 、 $C = \circ$ として表示する
 - 全応力の結果を表示しない
- ③ せん断試験・有効応力の表示方法を指定
 - $\Phi = \bullet$ 、 $C = \circ$ として表示する
 - $\Phi = \blacktriangle$ 、 $C = \triangle$ として表示する
 - 全応力の結果を表示しない



(6) 特記事項指定

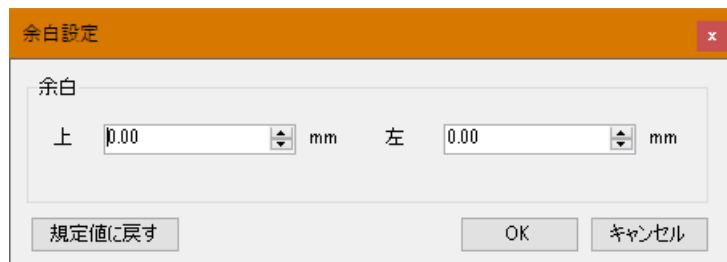
- ① [印刷設定]-[特記事項指定]をクリックすると、特記事項指定ダイアログを表示します。
- ② 特記事項欄に対し[コメント] (上位4行) を表示できます。



(7) 余白設定

土性図の用紙上の表示位置を[上余白][左余白]指定により変更します。

使用するプリンタの表示可能領域の範囲内で指定してください。



6.4.5. ヘルプ

(1) ヘルプの表示

- ① [ヘルプ]-[ヘルプの表示]クリックにより、本書を表示します。

(2) バージョン情報

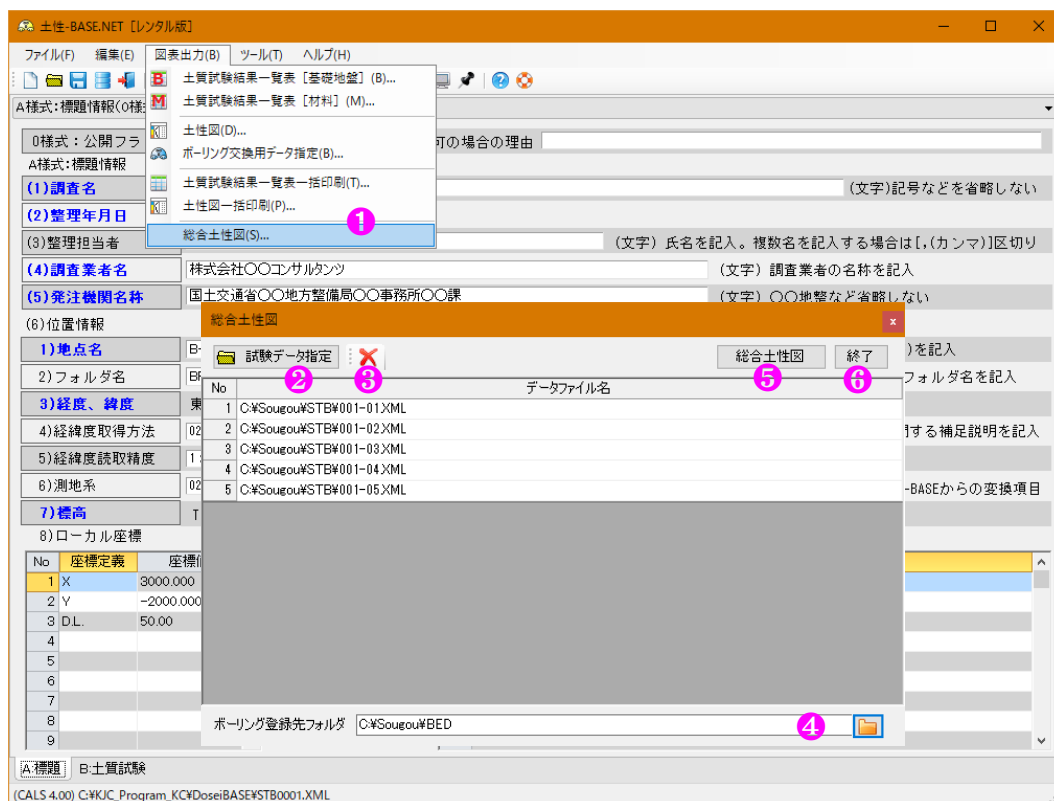
- ② [ヘルプ]-[バージョン情報]クリックにより、[土性図 VIEW]の



6.5. 総合土性図 (Ver.2.1~)

6.5.1. 総合土性図出力

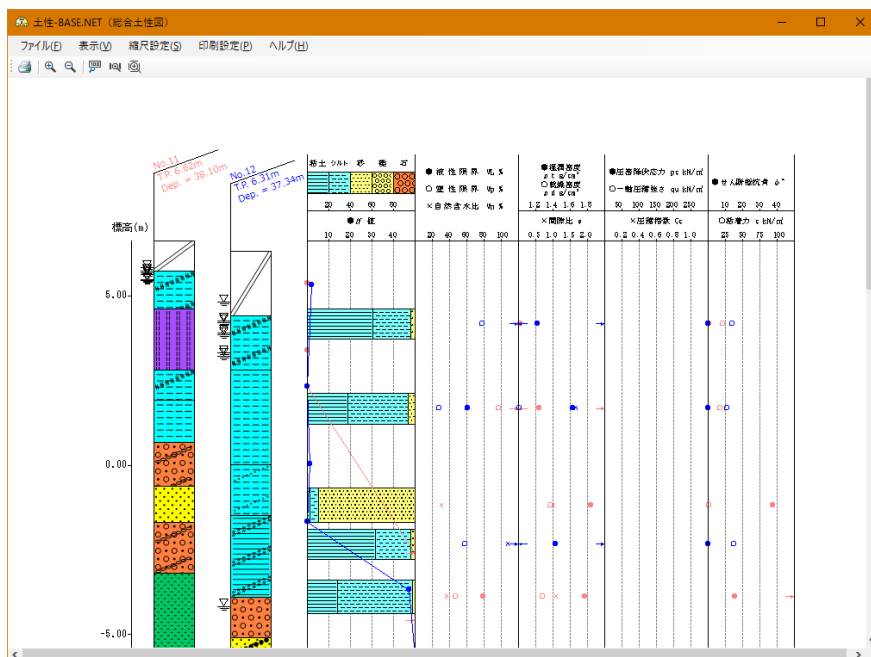
- ① 総合土性図を出力する場合は、[図表出力]-[総合土性図]をクリックします。
→[総合土性図]ダイアログが表示されます。
- ② [試験データ指定]ボタンをクリックすると[ファイルを開く]ダイアログが表示されるため、総合土性図に使用する土質試験結果一覧表データを(複数)指定します。
- ③ 削除したいデータファイルを行選択し、**X**をクリックします。
- ④ [ボーリング登録先フォルダ]欄に対応するボーリング交換用データが登録されているフォルダを指定します。
📁 クリックにより[フォルダの参照]ダイアログからの指定も可能です。
- ⑤ [総合土性図]ボタンのクリックにより総合土性図 VIEW が実行されます。
- ⑥ [終了]ボタンクリックにより処理が終了します。



6.5.2. 総合土性図 VIEW

[総合土性図 VIEW]において作成した土性図の表示確認および印刷を行います。

各機能は[印刷設定]-[色設定]以外は、[土性図 VIEW]と共通です(6.4.土性図 VIEW を参照)。

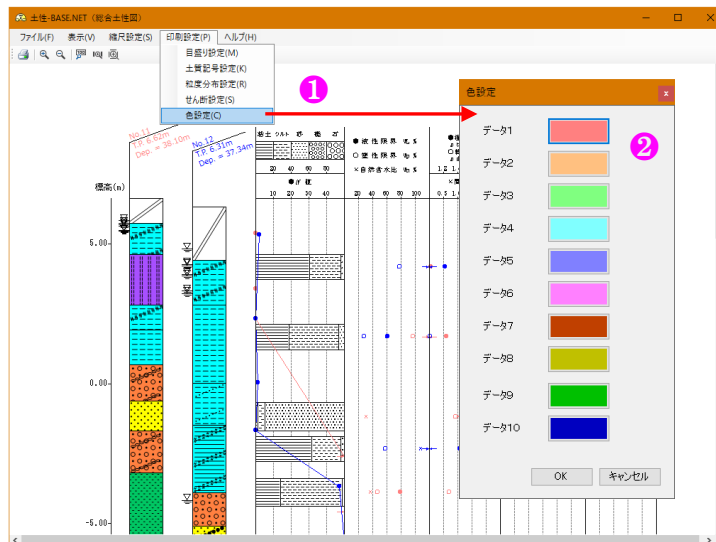


6.5.3.印刷設定

(1) 色設定

各グラフの軸目盛りを設定します。

- ① [印刷設定]-[色設定]をクリックすると、色設定ダイアログを表示します。
- ② 各データのプロット色を指定します。
※ データ 11 以降は黒色に固定となります。



7. その他の機能

本章ではその他の機能として、主に[ツール]および[ヘルプ]メニューに割り当てた機能について説明します。

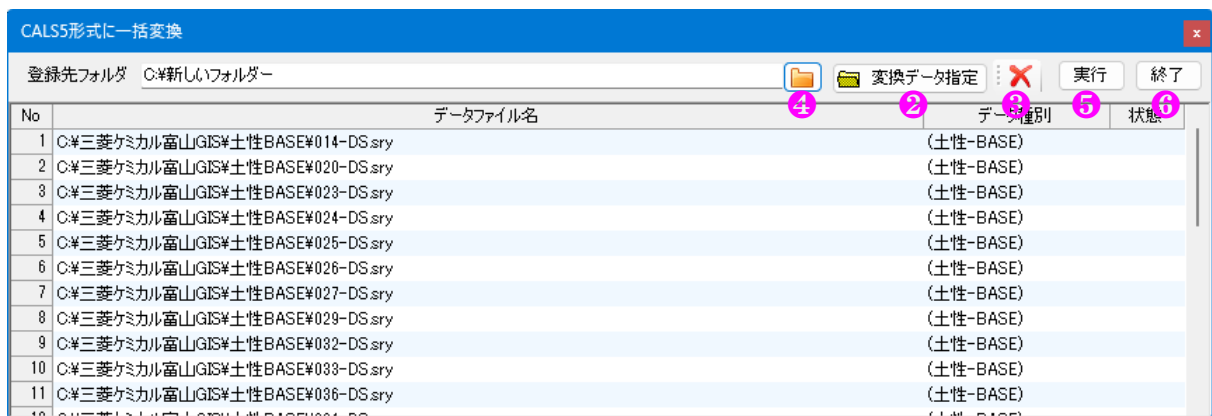


7.1. ツール

7.1.1. SRY→CAL55 一括変換

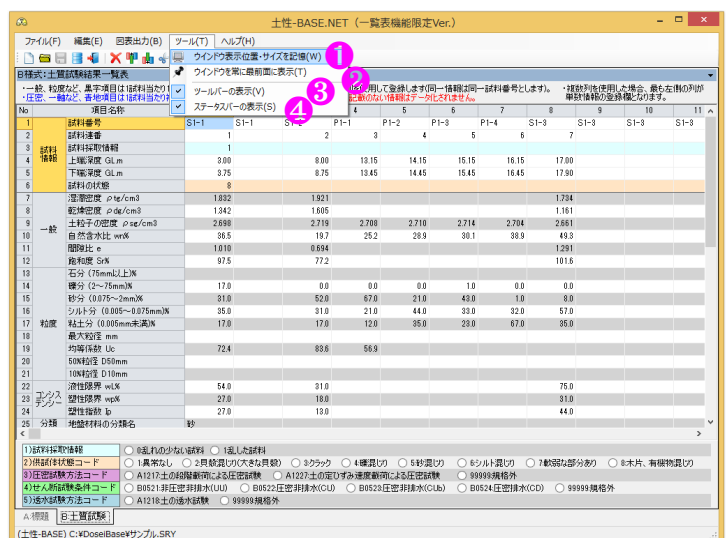
.SRY/.CAL53.00/.CAL54.00 形式を CAL55 形式に一括変換します。

- [ツール]-[SRY→CAL55 一括変換]をクリックします。→[CAL55 形式に一括変換]ダイアログが表示されます。
- [変換データ指定]ボタンをクリックすると[ファイルを開く]ダイアログが表示されるため、一括変換したい土質試験データを（複数）指定します。
 - 土性-BASE(.SRY) CAL5 ポーリング交換用データ (Ver.3.00・Ver.4.00・Ver.5.00) 形式のデータを指定できます。
- 削除したいデータファイルを行選択し、**X** をクリックします。
- [登録先フォルダ]欄に変換したファイルを登録するフォルダを指定します。 クリックにより[フォルダの参照]ダイアログからの指定も可能です。
- [実行]ボタンのクリックにより変換処理が実行されます。
- [終了]ボタンをクリックにより一括変換が終了します。→ 終了確認用ダイアログに[はい]をクリックします。



7.1.2. ウィンドウ表示位置・サイズを記憶

- [ツール]-[ウィンドウ表示位置・サイズを記憶]をクリック（ツールバー及びコンテキストメニューからも操作可能）します。→有効にすると、ダイアログの表示位置・サイズ・レイアウトを記憶し、次回表示の場合に再現します。



7.1.3. ウィンドウを常に前面に表示

- [ツール]-[成果品の[ウィンドウを常に前面に表示]をクリック（ツールバー及びコンテキストメニューからも操作可能）します。→有効にすると、メイン画面が常に前面に表示され、他の Window に隠れることはありません。

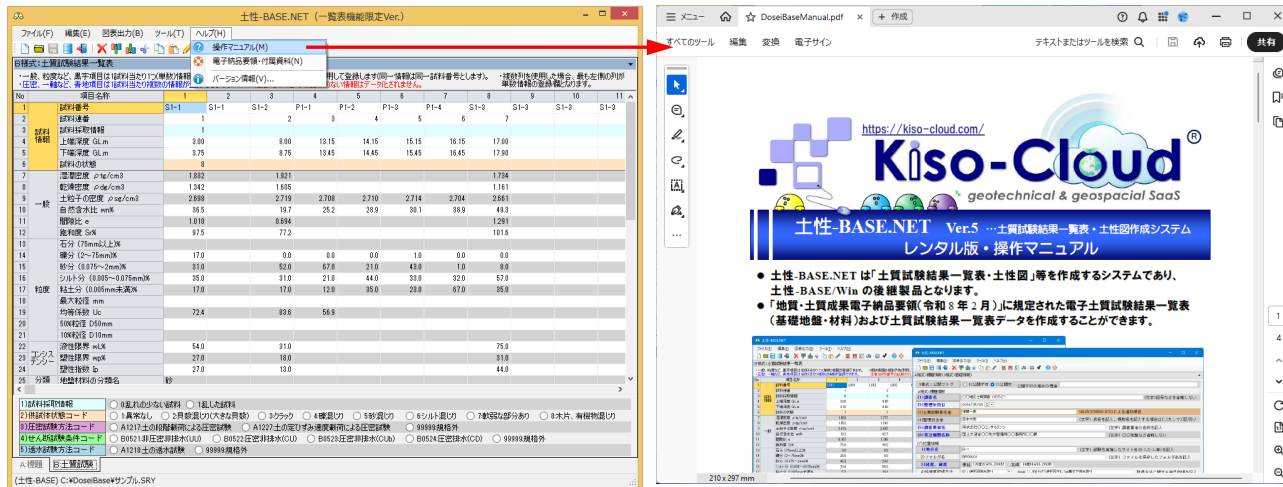
7.1.4. ツールバーの表示・ステータスバーの表示

- [ツール]-[ツールバーの表示]をクリックにより、ツールバーの表示・非表示が切り替わります。
- [ツール]-[ステータスバーの表示]をクリックにより、ステータスバーの表示・非表示が切り替わります。

7.2. ヘルプ

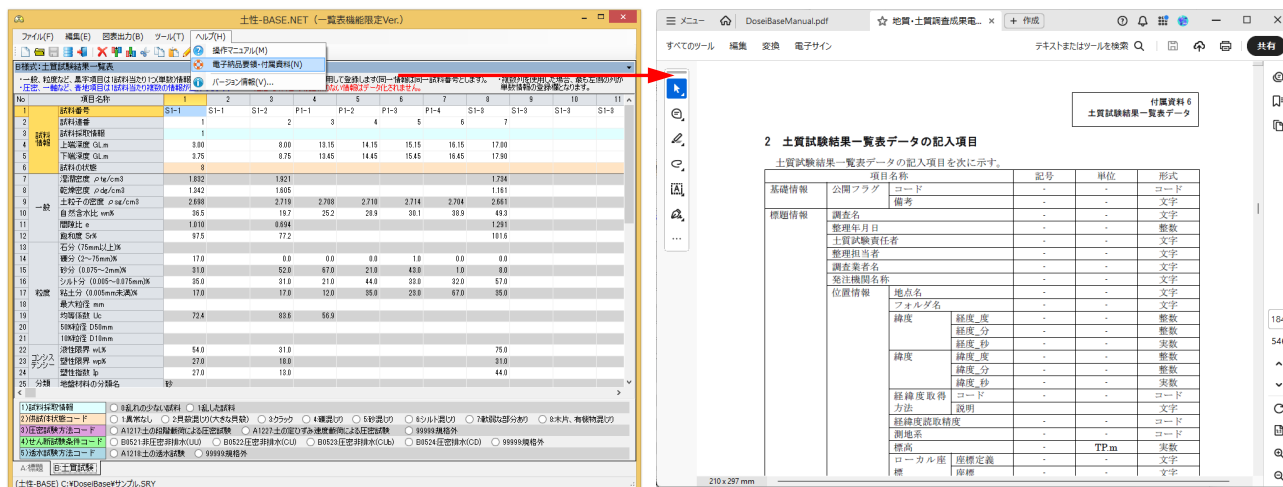
7.2.1. 操作マニュアル

① [ヘルプ]-[操作マニュアル]クリックにより、本書を表示します。



7.2.2. 電子納品要領・付属資料

① [ヘルプ]-[電子納品要領・付属資料]クリックにより、「地質・土質調査成果電子納品要領・同解説・付属資料」の当該ページを簡単に表示することができます。



7.2.3. バージョン情報

① [ヘルプ]-[バージョン情報]により、本システムのバージョン情報が表示されます。

② [OK]ボタンをクリックすると表示が終了します。

- レンタル版の場合は Serial No. は必ず TJ-99999999-999999-999-999 となります。
- Kiso-Cloud 上のバージョン番号と比較し、システムが古い場合は、Kiso-Cloud から新しいシステムをダウンロードしてインストールします。

